

ふくしま

SDGs



ふくしま応援！『ペコ太郎』

推進プラットフォーム

取組集 ~ 令和7年度 ~



キビタン©福島県



～ もくじ ～

[▶ふくしまSDGs推進プラットフォームについて……………6](#)

[▶プラットフォーム 令和7年度の取組……………7](#)

[▶プラットフォーム 活動の経過（令和6年度以前）……8～10](#)

[▶SDGsの取組応援メッセージ……………11～13](#)

[▼プラットフォーム会員の皆様の取組集……………14～101](#)

団体名（五十音順）	所在地	主な取組	頁
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 福島支店	郡山市	SDGs 経営簡易診断サービスの実施	15
生活協同組合あいコープふくしま	郡山市	生産者交流会	16
公立大学法人 会津大学	会津若松市	理工系分野の女性活躍推進	17
会津坂下町	会津坂下町	SDGsによる施策管理	18
会津若松市	会津若松市	「スマートシティ会津若松」の推進	19
アサヒグループジャパン株式会社	東京都	「お酒との正しい付き合い方（適正飲酒）」セミナー	20
荒川産業株式会社	喜多方市	ペットボトルキャップ回収によるワクチン支援	21
イオン東北株式会社 福島事業部	福島市	震災からの復興と緑化・自然環境の保全に寄与する取組	22
医療創生大学	いわき市	健康医療科学部 理学療法学科主催「健康運動教室」	23
いわき市	いわき市	いわきタバスケ	24
いわき市中央卸売市場協会	いわき市	市場内一斉清掃	25
おおたま村づくり株式会社	大玉村	「エンガル消費」で持続可能な社会をつくろう	26
小名浜海陸運送株式会社	いわき市	社会貢献活動	27
一般社団法人CARNIVAL WORKS	郡山市	anneau café（あのかフェ）	28
ガールスカウト福島県連盟	福島市	明日へ繋ぐふうせんかずらの旅プロジェクト	29
学校法人成田学園 幼保連携型 認定こども園 希望ヶ丘こども園	郡山市	食の大切さを知る	30
葛尾創生電力株式会社	葛尾村	葛尾スマートコミュニティの構築・運営	31
金田建設株式会社	郡山市	EV充電スタンド普及設置事業	32

団体名（五十音順）	所在地	主な取組	頁
株式会社亀岡工務店	福島市	古材の再利用による主な取組 二酸化炭素排出量の削減	33
神田工業株式会社	鏡石町	健康経営	34
株式会社共和建商	白河市	KYOWA大感謝祭、見学会の開催	35
光建工業株式会社	郡山市	みんなの里山を未来へ「企業の森林づくり活動」実施	36
桑折町SDGs推進町民会議	桑折町	マリカ先生のSDGs講演会	37
郡山医療生活協同組合	郡山市	地域住民と専門職のパートナーシップによるヘルスプロモーション（健康づくり）活動	38
郡山ザベリオ学園中学校	郡山市	ミライ×ジブン探究	39
郡山市	郡山市	こおりやまSDGsアワード	40
こまがた元気会	喜多方市	空き家の撤去と更地を利用したマルシェや集いの場づくり	41
株式会社こんの	福島市	ばあばとじいじのごはん処	42
学生服リユースShop さくらや いわき店	いわき市	学生服回収BOXの設置	43
合同会社シナプス	東京都	SDGs / カーボンニュートラルカードゲーム研修	44
白河市	白河市	女性に寄り添うライフ・ワークサポート事業	45
セコムエンジニアリング株式会社	郡山市	社内ゴミの分別・地域清掃活動の実施	46
只見町立只見中学校	只見町	新聞紙バッグ作製および普及活動	47
伊達市	伊達市	学校給食と生産現場を繋ぐ農業体験について	48
玉川村	玉川村	SDGs 美しい村づくりリユース購買部活動	49
特定非営利活動法人チームふくしま	福島市	次世代育成事業	50
天栄村	天栄村	天栄村SDGs宣言制度「てんえいSDGsパートナー」	51
一般社団法人tenten	福島市	移住・転入者が暮らしやすい福島づくり	52
東京海上日動火災保険株式会社福島支店	郡山市	ふくしまマルシェの開催@東京(本社ビル)	53
株式会社東邦銀行	福島市	「TOHOキッズcaféキャラバン」	54
一般社団法人とうほう地域総合研究所	福島市	機関誌「福島への進路」等による情報発信・情報共有	55
東レフィルム加工株式会社 福島工場	鏡石町	環境に配慮した包装材料の開発・販売	56
株式会社ナプロアース	伊達市	サーキュラーエコノミーの実現と世界標準化、リサイクル活動の認知活動	57
株式会社二嘉組	郡山市	働きがいのある、働きやすい職場環境づくり	58
ニプロファーマ株式会社 鏡石工場	鏡石町	廃棄PTPシートのマテリアルリサイクルによるCO ₂ 排出削減	59

団体名（五十音順）	所在地	主な取組	頁
日本クリーンシステム株式会社	小野町	ペットボトルキャップ支援（ワクチン寄付）	60
日本たばこ産業株式会社 福島支社	郡山市	『そなえる・ふくしま2025』出展	61
株式会社日本旅行東北 福島・郡山支店	福島市	サステイナブル・ブランド スチューデント・アンバサダープログラム（SBSA）	62
野木沢地区自治協議会	石川町	交通事故啓発活動、水の汚染検査	63
林興業株式会社	いわき市	ICT施工を活用した施工管理	64
有限会社光自動車整備工場	郡山市	リサイクル部品の推進によるCO ₂ の削減	65
株式会社福産建設	石川町	NPO法人ハンガー・フリー・ワールドにおける、使用済み切手等の回収キャンペーンへの参加	66
ふくしまSDGsネットワーク（F S N）	郡山市	SDGs 出前講座	67
ふくしまSDGsプロジェクト推進コンソーシアム	福島市	ふくしまSDGsプロジェクト	68
一般社団法人福島県環境測定・放射能計測協会	福島市	「食と放射能に関する座談会」の開催	69
公益財団法人福島県国際交流協会	福島市	「やさしい日本語」の普及	70
公益財団法人福島県産業振興センターエネルギー・エージェンシーふくしま	郡山市	福島県再生可能エネルギー関連産業推進研究会の運営	71
福島県商工会女性部連合会	福島市	レジ袋削減「エコバッグ作成」	72
公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会	福島市	持続可能な森林経営への支援	73
公益財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構福島県男女共生センター	二本松市	ダイバーシティ理解促進事業	74
福島県レクリエーション協会	福島市	レクリエーション指導者の養成	75
福島国際研究教育機構（F-REI）	浪江町	国内外に誇れる研究開発	76
福島コンピューターシステム株式会社	郡山市	段階的なGX人材育成プログラム	77
福島市	福島市	ダイバーワークスタイル企業認証事業	78
福島市子ども食堂NET	福島市	子ども食堂の運営支援	79
株式会社福島タネセンター	須賀川市	スマート農業技術の確立による生産性の大幅向上と農業の魅力発信	80
福島県立福島西高等学校 一学年	福島市	SDGs ポスターセッション	81
福島防水株式会社	郡山市	全社員の健康維持と能力開発向上	82
株式会社福島民報社	福島市	SDGs 関連情報の発信・啓もう	83
福島民友新聞株式会社	福島市	報道や事業を通して県民とともに持続可能な社会の実現を目指す	84
富士工業株式会社	中島村	寄付活動	85
フジモリ機工株式会社	いわき市	地域美化活動	86

団体名（五十音順）	所在地	主な取組	頁
北都オーディオ株式会社	いわき市	資源の循環と節電	87
ほけんネットワーク有限会社	郡山市	地域社会の防災・減災対策に活用できる各種ツールの提供	88
三井住友海上火災保険株式会社 福島支店	福島市	S D G s 取組支援（出張セミナー・宣言書作成支援）	89
三本珈琲株式会社 福島支店	福島市	食品ロス削減と啓発活動	90
福島県立南会津高等学校【S D G s 探究】	南会津町	南会津からできるS D G s	91
明治安田生命保険相互会社 郡山支社	郡山市	健康寿命の延伸	92
株式会社諸井緑樹園	南相馬市	環境保全への取り組みについて	93
ヤマト運輸株式会社 福島主管支店	郡山市	みんなの街・職場をきれいに	94
大和電設工業株式会社	いわき市	水素燃料電池トラックの活用	95
株式会社ユニフォームネット	東京都	使用済みユニフォーム再資源化プロジェクト推進	96
株式会社ヨークベニマル	郡山市	店頭における資源物回収	97
リコージャパン株式会社 福島支社	郡山市	S D G s と事業の同軸化と脱炭素ソリューション	98
株式会社リビングソーラー	いわき市	省エネ、省CO ₂ 対策の啓蒙啓発活動	99
有限会社ワシオ商会	会津若松市	健康経営の取り組みとWell-beingの発信	100
渡辺エンジニアリング株式会社	福島市	太陽光発電による社用EV車の充電	101

▶ [福島県総合計画について](#) [102](#)

ふくしまSDGs推進プラットフォームについて

1 プラットフォームについて

持続可能な県づくりを進めるにあたっては、2015年の国連サミットで決定した国際社会の共通目標である「持続可能な開発目標」(SDGs)の達成に向けた取組が、幅広い分野や地域で展開されることが重要です。

福島県では、SDGsを入口とした、県内の市町村や企業、団体、NPOなどの多様な主体による連携・協働の機会を創出し、県づくりを推進するために、その活動の場としてプラットフォームを設置しています。

プラットフォームでは、県全域におけるSDGsの取組の一層の向上を図り、本県の課題解決に向けた取組の広がりと活性化を促進するため、「ひろがる!」「つながる!」「まなべる!」の3つの視点から、様々な活動を行っています。

SDGsに関心のある団体であれば、県内外を問わず入会可能です。(会費は無料です)

2 対象

企業、団体、教育機関、市町村、NPO、個人事業主等でSDGs推進に取り組む、又は関心がある団体 ※任意団体を含みます。

3 活動内容

- (1)SDGsに関連するシンポジウム(フォーラム)・セミナー等イベントの開催
- (2)会員が実施するSDGs関連イベントや取組の発信
- (3)会員間の連携やマッチングの支援
- (4)会員間の先導的取組・SDGsに関連する研究等の情報共有及び相互啓発
- (5)その他、目的の達成に必要な事業

4 主なメリット

- (1)ひろがる!
会員間の交流やホームページ、メルマガによる情報の発信・受信をすることができます。
- (2)つながる!
解決したい課題を持つ会員と、解決策やノウハウを持つ会員とのマッチングをサポートします。
- (3)まなべる!
セミナーへの参加や分科会の設置・参加を通じて、知見の共有や異分野連携・官民連携の機会を創出できます。

5 会員登録について

会員登録申込書兼誓約書に必要事項を入力し、事務局(県復興・総合計画課)にご提出ください。詳細や会員登録申込書兼誓約書は、下記の専用ホームページをご確認ください。

<専用ホームページ>

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/sdgs-pf/>



プラットフォーム 令和7年度の取組

R7.10.23
R7.10.30

「ふくしまの今と未来をつなぐ見学会」 (相双地区)

福島県の復興の現状を知っていただくため、相双地区（福島口ポットテストフィールド、東日本大震災・原子力災害伝承館ほか）の見学会を実施。



R7.12.4
R7.12.19

「ふくしまの今と未来をつなぐ見学会」 (東京電力第一原子力発電所見学)

本県の課題解決に取り組む現場を直接見て、知っていただくため、「東京電力廃炉資料館」と「福島第一原子力発電所」の見学会を実施。



R7.12.7

「ふくしま復興とSDGsを考える 県民シンポジウム2025」の開催

当プラットフォーム会員（8団体）のご協力の下、SDGs推進に向けた取組を多くの来場者に発信するポスターセッションを実施。



R8.2.24

プラットフォーム第7回セミナー (生成AI活用セミナー)

企業にとって生産性向上や新たな競争力をもたらす可能性を秘めている生成AIについて、基本的な内容や活用事例を学んでいただき、生成AI活用のきっかけとしていただくため、「生成AI活用セミナー」を開催。



【通年】SDGs出前講座

申込みや希望に応じ、官民間問わず出前講座を実施。

SDGsの成り立ちや基本的な考え方、県総合計画との関連や、福島県内におけるSDGs推進の取組等について説明。

また、令和5年度から「SDGs」と「身近な環境（ごみ排出量削減、エシカル消費など）」をセットにしたコラボ講座を始めた。

【開催実績】

12回 598名（R7年度）



プラットフォーム 活動の経過（令和6年度以前）

R3.10.18

福島県総合計画の策定

内堀県政になってから初めて作った総合計画。福島県のづくりの方向性と、SDGsの目指す方向性は一致しているとの考えの下、「目指す将来の姿」をSDGsの視点でも描いたことが特徴。



計画P38-39より抜粋

R4.2.17

ふくしまSDGs推進フォーラム

次年度の「ふくしまSDGs推進プラットフォーム」の正式な立ち上げに向け、県内の機運醸成につなげるために開催。

総合計画に掲げる「目指す将来の姿」の実現に向け、SDGsを入口（きっかけ）とした連携・協働による福島の未来づくりや誇りづくりの推進に向けたイベント。



R4.4.27

プラットフォーム始動（会員募集開始）

R4.6.13

プラットフォーム キックオフイベント、 第1回SDGsセミナー

ふくしまSDGs推進プラットフォームの立ち上げを県内外に広く周知するとともに、産学官共金労言等の幅広い団体が、今後、力を合わせて連携・協働を進めていくことへの機運醸成や共感につなげる。



R4.9.24
~R4.9.25

ふくしまSDGs博へのブース出展

福島民報社主催のイベント。県内外のSDGsに取り組む企業・団体がブース出展。

当プラットフォームも参加し、連携協定締結企業である東邦銀行・東京海上日動と連動したクイズラリーや自分の18番目の目標を考えてもらうコーナーなどを設置。



R4.12.8

プラットフォーム第2回セミナー （企業向け脱炭素セミナー）

プラットフォーム会員である東京海上日動火災保険(株)の協力を得て企業向けの脱炭素セミナーを実施。セミナー後には、会員同士で取組を共有し合う交流会を実施した。



R5.1.5

プラットフォーム公式SNS開設（アカウント情報はP.110をご確認下さい。）

R5.1.26

プラットフォーム専用ホームページ開設

プラットフォーム 活動の経過（令和6年度以前）

R5.3.5

「ふくしま復興とSDGsを考える 県民シンポジウム」の開催

当プラットフォーム会員からSDGs推進に向けた取組を多くの来場者に向けて発表。



R5.7.6

プラットフォーム第3回セミナー （次世代の「新エネルギー社会」を福島から世界へ！）

プラットフォーム会員である（株）東邦銀行の協力を得て企業向けに新エネルギー社会についてセミナーを実施。

セミナー後には、会員同士で情報交換や名刺交換など交流会を実施。



R5.7.11

「福島の今を知る」見学会

R5.9.19

（東京電力第一原子力発電所見学）

本県の課題解決に取り組む現場を直に見て、知っていただくため、今回は「東京電力廃炉資料館」と「福島第一原子力発電所」の見学会を実施。



R5.11.19

「ふくしま復興とSDGsを考える 県民シンポジウム2023in会津」の開催

当プラットフォーム会員（出展4団体、掲示5団体）のご協力の下、SDGs推進に向けた取組を多くの来場者に発信するポスターセッションを実施。



R5.11.22

「福島の今を知る」見学会

R5.11.30

（浜通り地区）

福島県の復興の現状を知っていただくため、今回は東日本大震災・原子力災害伝承館の見学や被災地でのフィールドワーク、中間貯蔵施設見学（11/22）浅野燃系双葉事業所を見学（11/30）。



R5.11.27

プラットフォーム第4回セミナー （健康推進セミナー）

プラットフォーム会員である東京海上日動火災保険（株）の協力を得て健康経営やメンタルヘルスについてのセミナーを実施。

セミナー後には参加者全員で健康体操を行い、交流を深めた。



R6.1.20

ふくしまSDGs推進フォーラムの開催

県内でSDGsに取り組む団体と有識者によるパネルディスカッションや、参加者交流会を実施。また、会場内ではSDGsに関する取組を行っている団体がブース出展し、クラフト体験等を通じて来場者にSDGsの取組を紹介。



R6.6.5 **プラットフォーム第5回セミナー （合理的配慮セミナー）**

障害者差別解消法の改正により、令和6年4月から民間事業者には障がいのある方に対して合理的配慮の提供が義務化されたことに伴い、適切な対応を身につけることを目的に開催。

県障がい福祉課や日本盲導犬協会による協力の下、障がい当事者からの講話や盲導犬PR犬によるデモンストレーションのほか、参加者同士の交流会を実施。



R6.9.25 R6.9.30 **「福島を知る」見学会 （相双地区）**

福島県の復興の現状を知っていただくため、相双地区（原子力災害伝承館、震災遺構浪江町立請戸小学校ほか）の見学会を実施。



R6.11.4 **「ふくしま復興とSDGsを考える 県民シンポジウム2024」の開催**

当プラットフォーム会員（10団体）のご協力の下、SDGs推進に向けた取組を多くの来場者に発信するポスターセッションを実施。



R6.12.13 R6.12.17 **「福島を知る」見学会 （東京電力第一原子力発電所見学）**

本県の課題解決に取り組む現場を直に見て、知っていただくため、今回は「東京電力廃炉資料館」と「福島第一原子力発電所」の見学会を実施。



R7.2.6 **プラットフォーム第6回セミナー （アンコンシャス・バイアス解消セミナー）**

日本語では「無意識の思い込み」等と表現されている「アンコンシャス・バイアス」について、経営者や管理職向けに「アンコンシャス・バイアス」に気づくための対処法や様々な業種の方々とのワークショップを含めたセミナーを開催。



SDGsの取組応援メッセージ

福島県内で活動している皆さんのSDGsの取組に対して、ふくしまSDGs推進プラットフォームのアドバイザーの方々から心強い応援コメントをいただきました。

当アドバイザーは、有識者や発信力の強い方に御就任いただいておりますが、県主催のSDGs関連イベントに御参加いただくなど、プラットフォーム会員の皆さんの活動を後押ししていただく「応援団」的存在です。



おかもと まさかつ
岡本 全勝 元復興庁事務次官

1955年奈良県生まれ。東京大学法学部卒。自治省（現総務省）入省。富山県総務部長、内閣総理大臣秘書官。東日本大震災発生後は被災者生活支援本部事務局次長、復興庁統括官、復興事務次官、福島復興再生総局事務局長など、約10年間にわたり復興に従事。著書に「東日本大震災 復興が日本を変える」など。

アドバイザー

この取組も、5年目に入りました。参加者の数も、取組の分野や方法も広がりました。

「SDGs」や「持続可能な開発目標」という言葉は、私たちにはなじみがないものと感じます。しかしこの冊子に紹介されている活動は、自分たちができることであり、身近なことばかりです。地域活性化、つながりの場作り、地域の美化、省エネ・省資源などなど。一つひとつは小さなことですが、それらが積み上がると大きな成果を生みます。そしてそれが、県民の意識を変えていきます。

知恵と少しのやる気を出せば、さまざまなことができます。さあ皆さんも、一步踏み出しましょう。

むらお のぶたか
村尾 信尚 関西学院大学教授

1955年岐阜県高山市生まれ。1978年大蔵省（現財務省）に入省。主計局主計官、理財局国債課長、環境省総合環境政策局総務課長などを経て2002年退官。公務員・NPO活動・ニュースキャスター等の豊富な経験を踏まえ、政策提言・教育研究・情報発信を行う。2003年10月より関西学院大学教授。2006年10月～2018年9月「NEWS ZERO」（日本テレビ系列）メインキャスター。



アドバイザー

ふくしまSDGs推進プラットフォームのスタート時から、その取組を見てきましたが、今ではこんなに多くの方が、こんなに多彩な事業を展開するまで進化したことに対して、改めて皆さんの決意と行動に敬意を表したいと思います。

令和7年度の取組も実に多様ですね。ここで、どのプロジェクトを見ても、共通して私が感じるのは、「個別の利益よりも全体の利益を、短期の利益よりも長期の利益を優先する」という皆さんの姿勢です。

これとは真逆の風が世界に吹き荒れるなか、皆さんこそが明日の時代を切り拓く先駆者だと思います。こんな思いで、これからも応援させていただきます。頑張ってください！



やまざき なおこ
山崎 直子 宇宙飛行士

アドバイザー

2010年、スペースシャトルに搭乗し、国際宇宙ステーション(ISS)組立補給ミッションに従事。JAXA退職後、内閣府宇宙政策委員会委員(2022年迄)及び部会委員、文科省宇宙開発利用部会長、一般社団法人スペースポートジャパン代表理事、公益財団法人日本宇宙少年団(YAC)理事長、環境問題解決のための「アースショット賞」評議員、東北復興宇宙ミッション実行委員長、民間宇宙ステーション開発のVast Japanゼネラルマネージャーなどを歴任する。
著書に『宇宙に行ったらこうだった!』(リビックブック社)など。

東北復興宇宙ミッションの一環で、須賀川市内の小中学生が種を集め、2020年に宇宙フライトした牡丹の種の子孫が、ようやく育ち、3輪開花しました。

一つひとつのミッションは時間がかかりますが、次世代に受け継がれていくことの大切さを実感しています。ふくしまSDGs推進プラットフォームの数々の取組も、時間がかかるものもあるでしょうが、皆さんが蒔いた種が大きくなり、そして引き継がれていくことを心より応援しております。

SDGsの誰一人取り残さないという精神は、私たちは皆、宇宙船地球号の乗組員であり、運命共同体ということをお思い出させてくれます。プラットフォームを通じて、様々な活動の輪が広がり、よりよい福島につながっていくこと、世界に発信されることを期待しています。

つだ あつし
津田 敦

東京大学理事・副学長（社会連携、産学協創、150周年）、大気海洋研究所特任教授



アドバイザー

1982年北海道大学水産学部卒業。1987年東京大学農学系研究科水産学専攻博士課程修了。東京大学海洋研究所助手、水産庁北海道区水産研究所室長、東京大学海洋研究所助教授を経て、2011年から大気海洋研究所教授。2015～19年度まで大気海洋研究所所長。2023年度より現職。専門は、プランクトン生態学。

SDGsは2015年に採択され11年が経過し、目標の2030年まで4年となりました。周知の段階は過ぎ、収穫を刈り取る段階にきていると感じています。一方、この11年でAIなどの技術革新は目覚ましく、また各種の分断など世界情勢は大きく変わりました。しかし、持続可能性という目標はこれらの変化の上位に位置する目標であることも再認識しなければなりません。

皆様の提案をみて、SDGsにかかわる多くの活動は、ものを大切にする、無駄をしない、周りの人を思いやるといった、我々が大切にしてきた文化や伝統に非常に親和性が高いものだと実感できました。皆様の取組を通じて歴史、文化、風土に根ざした活動が広がり、福島県がさらに活性化し、貧困や不平等のない世界が実現していくことを願っています。



アドバイザー

あさかわ ちえこ
浅川 智恵子

日本科学未来館館長、IBMフェロー・エメリタ

小学校時代のプールでのけががもとで、中学2年生の時に失明。
大学卒業後にプログラミングを学び、1985年に日本アイ・ビー・エム株式会社 東京基礎研究所に入社。以降35年以上にわたりアクセシビリティ技術の研究開発に携わり、点字のデジタル化システムや、世界初の実用的な視覚障害者向け音声ブラウザを開発し、世界の視覚障害者の情報アクセシビリティの向上に貢献してきた。現在は、AIツーカーの社会実装へ向けた開発、実証実験に取り組む。

福島の皆さん、こんにちは。ふくしまSDGs推進プラットフォームのアドバイザーを務めております、日本科学未来館館長の浅川智恵子です。

令和7年度の取組集を拝見し、地域の課題に向き合い、企業や自治体、学校、団体など多様な主体が連携し実践を重ねておられる姿に、深い感銘を受けました。一つひとつの取組が、未来に続く福島の力になっています。

私は「あなたとともに未来をつくるプラットフォーム」というビジョンのもと、対話と共創を大切にしてきました。これからも皆さまと歩みを重ね、持続可能で希望ある未来づくりに取り組んでまいります。今後も福島から生まれる挑戦とつながりが、地域と社会を前に進めていくことを心より期待しています。

いだ ひろこ
井田 寛子

気象予報士・キャスター・WWFジャパン顧問

埼玉県春日部市生まれ。春日部親善大使。筑波大学卒業後、製薬会社を経てNHK・TBS等メディアを中心に活動（ニュースウオッチ9、あさちゃん!）。

2014年ニューヨークで開かれた国連気候サミットへの参加をきっかけに気候変動問題に関心を持ち、「難しいことを分かりやすく」伝えることにこだわって学びや発信を続ける。2023年東京大学大学院広域科学専攻修士課程修了。メディアの気候変動コミュニケーションを研究し、現在、気候変動や防災に関する講演会等で活動中。



アドバイザー

地域や世代を越えたプラットフォームで繋がる皆さんの活動や取組は、いつもエネルギーで豊かな発想にあふれています。気候の変化が高速化する今、農業、漁業、健康、子育て、スポーツ・・・あらゆる場面で適応と緩和の対策が求められています。危機感にとどまらず確実に行動し発信するプラットフォームの皆さんの姿は、日本の希望だと思えます。持続的な活動になるよう、私も微力ながら応援しています！

取組集について

プラットフォーム活性化や会員間の情報交換、連携・協働の一助となることを目的に、会員の皆様のご協力をいただき取組集を作成いたしました。

※令和7年2月に掲載取組を募り、ご提出をいただきました全87団体の皆様の取組をまとめています。

各会員の取組は、五十音順に掲載しております。なお、1団体1ページ以内にまとめて掲載しております。

※上記の団体情報は令和7年3月末時点の情報となります。

※HPや担当者名が伏せられている場合もございます。

ページ下部に会員様ホームページの二次元コードを記載しておりますので、是非ご覧ください。

取組集掲載ページ

本取組集を含むこれまでの取組集のデータについては、下記のページからご覧いただけます。

▶ 令和6年度取組集

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/718332.pdf>



▶ 令和5年度取組集

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/641227.pdf>



▶ 令和4年度取組集

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/561290.pdf>



会員一覧

プラットフォームに入会いただいている会員の皆様の一覧は下記のホームページに掲載しております。こちらも併せてご覧ください。

▶ 専用ホームページ - 会員一覧

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/sdgs-pf/member.html>



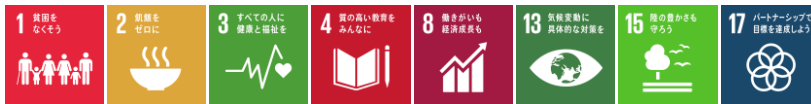


生活協同組合あいコープふくしま

主な活動場所：福島県郡山市

主な取組①

生産者交流会



夏休み親子企画の生産者交流会で愛農会の無農薬田んぼ見学とニラの花摘みを行いました。愛農会の無農薬の田んぼ見学では生産者の皆さんの稲作への想いや取組のお話と生き物観察を行いました。農薬を使用しなくても雑草が少ない田んぼは1つの生態系ができており、様々な生き物の姿に子どもたちは歓喜の声をあげていました。また、ニラの花摘みでは花摘みすることで甘く、美味しいニラが育つことを学び、大人から子どもまで黙々とニラ花摘み作業を行いました。生産者交流会で学んだことを食育講座で伝える活動にも取り組んでいます。



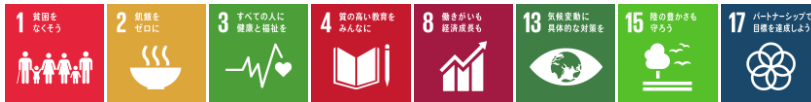
【愛農会 無農薬田んぼ見学】



【ニラの花摘みの様子】

主な取組②

石けん普及活動



環境にやさしい石けんの利用を広げる活動として、石けんの学習と利用方法を学ぶ職員会議や組合員カフェ会を行っています。職員会議では作業着の洗濯で石けんの洗浄力を確認しました。石けんカフェ会では石けんの泡立て方から洗い方まで洗濯機を使い、実戦しました。また、毎年開催されるあいコープまつりでも石けんの相談コーナーを配置して、多くの組合員への普及活動と利用の促進に取り組んでおります。石けんの普及活動として石けん講座の開催も取り組んでおります。



【職員会議de石けん】



【石けんカフェ会開催】

〒963-0101 福島県郡山市安積町日出山1-110-1
【H P】 <https://icoop-fukushima.jp/>
【TEL】 024-956-0011
【MAIL】 icoop-fukushima@ia1.itkeeper.ne.jp





主な取組

理工系分野の女性活躍推進



本学は、コンピュータ理工学分野の女性活躍に向けた様々な取組み「Women's Empowerment Program（女性活躍推進プログラム）」を展開中です。

- 経済支援
企業寄附金を原資に、女子学生学習奨励金（返済不要）を支給し、女性の理工系分野進出を経済面から後押ししています。
- ロールモデルとのネットワーク構築
女子学生と産業界で活躍する女性エンジニアの交流会への参加を支援しています。
- パソコン甲子園への女性参加促進
パソコン甲子園への女性参加を促進し、ICT人材の裾野を広げるよう取り組んでいます。
- キャリア形成支援
理工系企業出身の職業人を招いて学生との座談会を開催するなど、理工系分野の女性のキャリア形成支援を行っています。
- 就業支援
「会津大学誰もが輝けるITキャリアアップ塾」を開講し、IT人材の育成と県内就業を支援しています。
- 地域との連携
会津若松商工会議所女性会との交流事業を行っています。



【ロールモデルとのネットワーク構築】



【パソコン甲子園への女性参加促進】



【キャリア形成支援】



【就業支援】





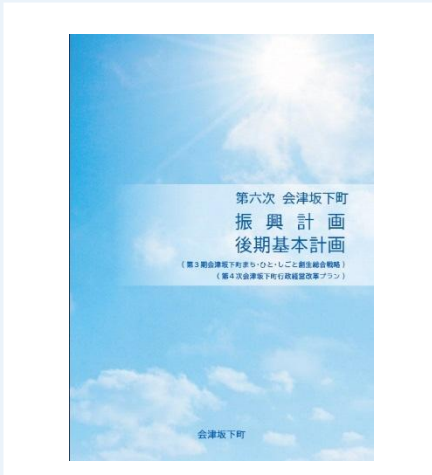
会津坂下町

主な活動場所：福島県会津坂下町

主な取組

SDGsによる施策管理

町が実施する施策が、SDGsの理念である「誰一人取り残さない」や、全ての町民のための施策となっていることを明確にするため、SDGsによる施策管理を実施してまいります。



【第六次会津坂下町振興計画後期基本計画】

施策名	SDGs																	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
1. 子育て支援	○																○	○
2. 子育て支援																		
3. 子育て支援																		
4. 子育て支援																		
5. 子育て支援																		
6. 子育て支援																		
7. 子育て支援																		
8. 子育て支援																		
9. 子育て支援																		
10. 子育て支援																		
11. 子育て支援																		
12. 子育て支援																		
13. 子育て支援																		
14. 子育て支援																		
15. 子育て支援																		
16. 子育て支援																		
17. 子育て支援																		

【SDGs 第六次会津坂下町振興計画後期基本計画実施計画の関係図】

〒969-6592 福島県河沼郡会津坂下町字市中三番甲3662番地
 【HP】 <https://www.town.aizubange.fukushima.jp/>
 【TEL】 0242-84-1504
 【MAIL】 seisaku@town.aizubange.fukushima.jp





会津若松市

主な活動場所：福島県会津若松市



主な取組① 「スマートシティ会津若松」の推進

会津若松市では、2015年から「スマートシティ会津若松」を掲げ、ICT（情報通信技術）や環境技術などを、健康や福祉、教育、防災、さらにはエネルギー、交通、環境といった生活を取り巻く様々な分野で活用し、将来に向けて持続力と回復力のある力強い地域社会と、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めています。



【デジタル地域通貨】
「会津コイン」



【ICTオフィスビル】
「スマートシティAiCT」



【AIオンデマンドバス】
「MyRideどこでもバス」

主な取組② 「脱炭素先行地域」の取組



会津若松市は、2023年、県内で初めて「脱炭素先行地域」（環境省）に選定されました。鶴ヶ城エリア、会津アピオエリア、湊エリアの3つのエリアにおいて、省エネ機器や再エネ設備、EV等の導入を進めるとともに、デジタル技術を活用したエネルギーマネジメントを行いながら、地域で生み出される再エネ電力を安定的かつ安価に利用できる仕組みをつくり、2050年までのできるだけ早い時期に、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ会津若松」の実現を目指しています。



【脱炭素先行地域認定書授与式】



【ゼロカーボンシティ会津若松 ロゴマーク】

〒965-8601 福島県会津若松市東栄町3-46
【H P】 <https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/>
【TEL】 0242-39-1201
【MAIL】 kikaku@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp (担当：企画調整課 二瓶)





主な活動場所：福島県福島市／福島県双葉郡

主な取組①

「お酒との正しい付き合い方（適正飲酒）」セミナー



ふくしまSDGs推進プラットフォームのマッチングリクエスト（提案発信型）へ掲載している適正飲酒セミナーをコンプライアンス研修会として福島県庁にて開催、数十名の皆様にご参加いただきました。本リクエストは次年度以降も継続し、県内各市町村へ展開を拡大していく計画です。



【セミナーの様子①】



【セミナーの様子②】

マッチングリクエスト
（提案発信型）



<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/sdgs-pf/mat11.html>

主な取組②

福島県沿岸部社内ツアー



福島県にとって大きな課題のひとつである「沿岸部の復興」について、防災・コミュニティ再生の視点から社内ツアーを実施。

「沿岸部の現状を知り、企業として何が出来るのか（どのように事業再開に繋げていけるか）」を社員自身が考える目的で現地訪問を企画しました。



【棚塩産業団地視察】



【請戸小震災遺構視察】



【イオン双葉店視察】



【建設中の宿泊&研修施設】

〒130-8602 東京都墨田区吾妻橋1-23-1

【H P】 <https://www.asahigroup-japan.co.jp/>

【TEL】 090-1405-3764

【MAIL】 ryusuke.kanazawa@asahi-youus.com（担当：金沢）





荒川産業株式会社

主な活動場所：福島県内全域

主な取組①

ペットボトルキャップ回収によるワクチン支援



荒川産業株式会社では、エコキャップ運動の一環として、毎年7月と1月の年2回、ペットボトルキャップの寄付を行っています。地域の皆さまからお預かりしたキャップはリサイクル資源として活用され、その売却益が発展途上国の子どもたちへのワクチン支援につながります。

【キャップとワクチンの目安】

- ・約430個 = 約1kg
- ・約5kg (約2,150個) で ワクチン1人分
- ・45ℓごみ袋1袋分 (約7kg) = 約1.4人分のワクチン支援

日々の分別や回収という小さな行動が、環境を守り、命を守る支援へとつながっています。

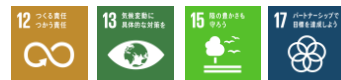


【エコキャップ運動について】 <https://amarc.co.jp/ecocap/>

【キャップとワクチンの目安】

主な取組②

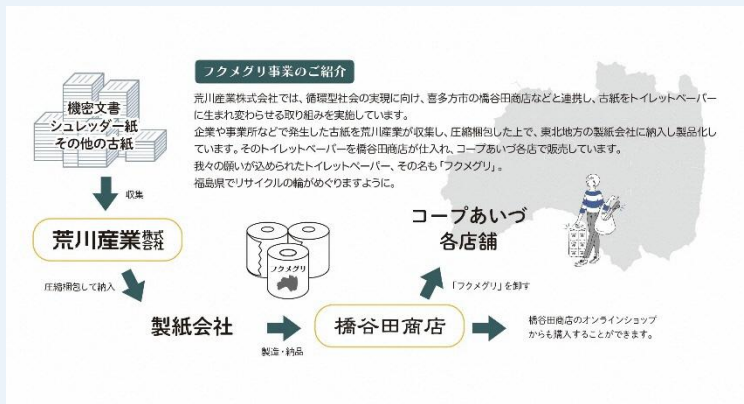
フクメグリ事業 - 地域でめぐる紙資源循環 -



荒川産業株式会社では、企業や事業所から排出される古紙を回収し、地域内で再資源化する循環型のしくみを構築しています。

焼却処分されていた紙資源を再生トイレットペーパー「フクメグリ」として製品化し、地域で活用することで、資源の有効利用と廃棄物削減に取り組んでいます。

回収から再資源化、製品化、消費、再回【フクメグリ事業の資源循環スキーム】
収へとつながる循環を福島県内で完結させることで、持続可能な地域循環モデルを実現し、SDGsの達成に貢献しています。



【フクメグリ特設サイト】 <https://fukumeguri.amarc.co.jp/>

フクメグリ
～福島県でリサイクルの輪がめぐりますように～

100%再生リサイクル
アマール
HASHIYADA SHOTEN
橋谷田商店
100%再生リサイクル

このトイレットペーパーは
福島県で回収された紙ごみ
が納入されている工場を製造しています。
紙ごみは資源としてリサイクルしましょう！

〒966-0056 福島県喜多方市字屋敷免3960番地
【HP】 <https://amarc.co.jp/>
【TEL】 0241-21-1511
【MAIL】 bpo@amarc.co.jp (担当：星)





イオン東北株式会社 福島事業部

主な活動場所：福島市、郡山市、西郷村、鏡石町、いわき市、広野町
双葉町、浪江町、南相馬市

主な取組①

震災からの復興と緑化・自然環境の保全に寄与する取組



東日本大震災による津波犠牲者への祈りを込めた「鎮魂の森」を築くことを目指し、2013年から毎年、南相馬市内で植樹祭が行われています。イオンでは東日本大震災からの復興・創生に向けた活動として初回から毎年参加いたしております。

第13回南相馬市復興鎮魂市民植樹祭は、原町区北泉地内北泉海浜総合公園内で行われました。当日は地域の皆さまとイオングループ従業員あわせて約1,200名が参加し、苗木約15,000本を植えました。



主な取組②

生活・買物環境整備とカーボンフリーな移動販売による地域支援



当社は、双葉町・浪江町の復興拠点等で買物支援を必要とする住民向けに、移動販売事業とコミュニティ創出を目的とした協定を、両自治体と2022年5月31日締結しました。

日常生活の支えや地域コミュニティづくりを後押しすることと、脱炭素社会実現を掛け合わせた世界初の取り組みとして、水素燃料電池自動車を活用した移動販売事業を行っております。買物環境はもちろんのこと、住民同士のつながりや、帰還の検討・促進する事業として、地域活性化の一翼となることを目指しております。



〒960-0194 福島県福島市南矢野目西荒田50-17

【H P】 <https://aeontohoku.co.jp/>

【TEL】 022-264-5909

【MAIL】 nihongi-s@aeontohoku.co.jp (担当：二本木)





主な取組

健康医療科学部 理学療法学科主催「健康運動教室」

本学の健康医療科学部理学療法学科では、2021年度より地域住民を対象とした「健康運動教室」を継続的に開催しています。

本教室では、地域住民の健康増進を目的とし、理学療法士の指導のもと、今の体力を知る「体力測定」や、健康に関するミニ講義、そして実際の運動を組み合わせたプログラムを実施しています。体調に合わせて無理なく運動できるような活動を用意しており、個人のペースで参加することができます。

今年度の開催もご好評いただき、楽しく活動することができました。



【体力測定】



【簡単な運動】



【健康に関するミニ講義】



【健康医療科学部所属の学生ボランティア】





いわき市

主な活動場所：福島県いわき市

12 つくる責任
つかう責任



主な取組①

いわきタベスケ

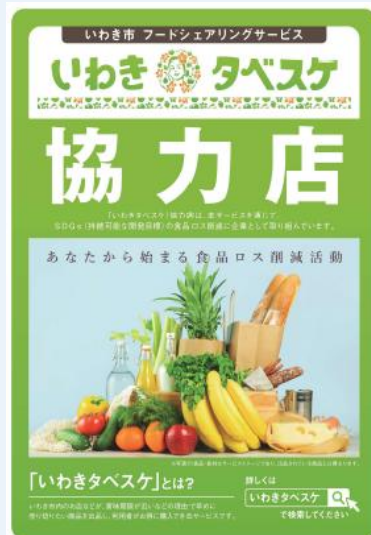
令和7年7月1日からサービス開始。

賞味・消費期限が近いなどの理由で、廃棄されてしまう食品を減らすため、「いわき市フードシェアリングサービス」を導入し、売り切りたい商品のある食品関連事業者（以下、協力店）とサービス利用者（以下、ユーザー）をマッチングさせ、食品ロスの削減を図る取り組みです。

当該サービスの導入は県内4番目（福島市、郡山市、白河市）で後発サービスになりますが、開始から半年で登録ユーザー数4,700人、協力店舗数52店と好調です。（食品ロス削減量1.5トン、販売額2,898千円）



【チラシ表面】



【協力店ステッカー】

主な取組②

産官学民が連携した防災教育



いわき市では、「逃げ遅れゼロ・災害死ゼロ」の危機管理モデル都市の実現に向け、地域防災力向上を目的に、産官学民が連携した防災教育を実施しています。

「誰一人取り残さない」実践的かつ持続可能な取組みとすることで、防災教育の充実強化及び地域活性化を図っています。

- 産…福祉事業所等
- 官…県、市
- 学…中学校、福島高等専
- 民…自主防災会や登録防災士、地区住民等



【中学生が自主防災組織の方とまち歩き】



【避難所開設訓練で異年齢交流】



【登録防災士による防災講座を実施】



【登録防災士同士で事前訓練を実施】

〒970-8686 福島県いわき市平字梅本21
 【HP】 <https://www.city.iwaki.lg.jp/www/index.html>
 【TEL】 0246-22-7410
 【MAIL】 seisakukikaku@city.iwaki.lg.jp





いわき市中央卸売市場協会

主な活動場所：福島県いわき市

主な取組①

市場内一斉清掃



市場内の環境美化を図るために、年2回（6月・10月）にわたり、市場内一斉清掃を行っています。



【市場内一斉清掃の様子】

主な取組②

料理教室



場内事業者の協力を得て、新鮮な野菜と魚介類を利用して家庭料理を学んでいただく料理教室と生活に潤いを取り入れるフラワーアレンジメント教室を開催しています。



【料理教室の様子】



【フラワーアレンジメント教室の様子】

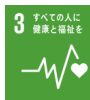


おおたま村づくり株式会社

主な活動場所：福島県大玉村

主な取組①

「エシカル消費」で持続可能な社会をつくらう



あだたらの里直売所では地元の野菜を販売し、地産地消につながっています。これは運送にかかる燃料を削減することになり環境に対して負荷を軽減することにつながります。また、規格外の野菜を販売していますが、これも無駄を省くこととなります。

これら以外にもあだたらの里直売所では障がい者施設の商品を販売してきました。これは様々な立場の人々が社会の一員として参加・活躍できる社会につながり「エシカル消費」につながっています。

こうした取り組みを福島県内に広めるため、毎月12日を「エシカルの日」として啓発イベントを開催したり、啓発グッズの設置を通して情報発信に取り組んでいます。

※エシカル消費とは…地域の活性化や雇用などを含む、人・地域・環境に配慮した消費行動です。



【店内普及グッズ】



【イベントの様子】

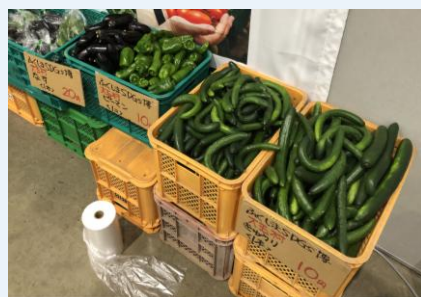


主な取組②

もったいない（規格外）野菜を食べよう



農家で作った野菜の中には農協やスーパーの流通に卸す際には決められた規格（大きさ、形）にしなければならず、規格外になってしまったものは廃棄されてしまいます。こうした味はおいしいのに捨てられてしまう「もったいない野菜」をあだたらの里直売所で販売することで農家の所得向上、生産者の意欲向上、新規就農につながることで持続可能な社会を目指しています。



【店頭に並ぶもったいない野菜】
（大きなきゅうりや曲がっているきゅうり）



【あだたらの里直売所にて
もったいない野菜を買い求める消費者】

〒969-1301 福島県安達郡大玉村大山字新田10-1
【H P】 <https://www.tif.ne.jp/fuku-gt/guide.html?id=162>
【TEL】 0243-24-2317
【MAIL】 murazukuri@dream.email.ne.jp（担当：矢吹）





小名浜海陸運送株式会社

主な活動場所：福島県いわき市



主な取組① 社会貢献活動

- ・会社周辺の清掃活動を平日朝に実施しています。
- ・地域主催の交通安全運動や清掃活動（春・秋）へ参加しています。



【ゴミ拾い活動の様子】

主な取組② 労働安全衛生



- ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいます。
- ・「安全衛生委員会」を設置し、定期的な安全パトロールを実施しています。
- ・作業中にアイスベストを使用し熱中症対策を実施しています。



【安全パトロールの様子】



【アイスベスト】





一般社団法人 CARNIVAL WORKS

主な活動場所：福島県福島市



主な取組① anneau café (あのカフェ)

高校生や大学生が子どもたちの社会課題を提起し、共に考え、コーヒーを飲むことが子ども食堂等へのチャリティになる全員参加型のカフェプロジェクトです。1杯のコーヒーとチャリティを通して、社会課題を解決する仕組みを創出します。



【anneau cafe (あのカフェ) の様子】

主な取組② 無料塾FOUR'S STUDIO



ひとり親家庭を含め様々なご家庭を対象に、教育格差をなくし、楽しみながら学ぶことを目的とした子ども食堂型の無料塾を月1回開催しています。子どもたちと関わってくれるのは多くの高校生・大学生ボランティアスタッフです。また、ひとり親家庭や様々な背景を抱えたご家庭には、食材の直接支援やSNS等を用いた相談支援も随時行っています。



【高校生・大学生ボランティアスタッフによる指導】

〒963-8842 福島県郡山市城清水67-1

【H P】 <https://carnival-works.org/>

【TEL】 090-5818-5320

【MAIL】 d.etou@carnival-works.org (担当：江藤)





ガールスカウト福島県連盟

主な活動場所：福島県内各地

主な取組①

明日へ繋ぐふうせんかずらの旅プロジェクト



2022年度から、未来へつながる環境活動として「ふうせんかずらの旅プロジェクト」を進めています。育てやすく、グリーンカーテンとして地球温暖化対策にも役立つふうせんかずらを会員みんなで育て、翌年には種を配布し、全国へと旅立たせてきました。現在では、活動に共感した他県からも育成や取り組みの報告が届き、福島から始まった緑の輪が全国へと広がっています。



【グリーンカーテンの様子】

《番外編～もりもり探検隊～》

2023年に植樹した杉の成長を観察し、森林保全が温暖化対策など環境を守ることに繋がると学びます。森づくりへの関心を高め、会員同士の交流を深めながら活動の活性化を目指します。



【環境保全の学び】

主な取組②

「ジェンダー平等を実現しよう」達成にむけて



ガールスカウトは、少女と女性が置かれている社会的な課題を見つめ、女性の可能性を広げることを目的とした活動を行っています。ふくしまSDGs未来博では、3年間にわたりジェンダーに関するアンケートを実施し、2025年度にその結果を集計・報告しました。「女の子だから」という理由で学ぶ機会が少なくなりがちな分野に着目し、STEAM教育分野の体験学習などを実施しています。これらの活動を通して、新しい分野への興味を育み、自らの可能性に気づき、将来の選択肢を広げることを目指しています。



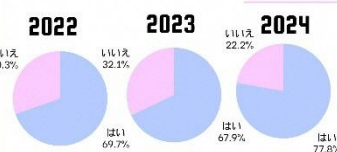
【STEAM教育への取り組み】



【来場者にアンケート結果を報告】

「男だから」「女だから」
〇〇しなさい(してはダメ)
と言われたことがある

過去の経験に対する調査のため、大きな変動はみられませんでしたが、社会において性別に基づく役割や期待を押し付けるような言葉が、依然として多くの人に聞かれている現状を反映していると思われる。割合が増えた言葉には、国語者がジェンダーにまつわる言葉に対してより敏感になった可能性があり、ジェンダーに対する意識が広まったとも考えられます。



【ジェンダーアンケート結果】





学校法人成田学園 幼保連携型 認定こども園 希望ヶ丘こども園

主な活動場所：福島県郡山市



主な取組① 食の大切さを知る

食材の栽培を通して野菜がどのように育つかを知り、作る事の大変さや命の存在を意識します。これらの経験をもとに食事の大切さを伝え、クラスごとの残食ランキングを作成するなど工夫して、廃棄を少なくしようと心掛けています。



じゃがいもたくさん掘れたよ



クラス	1人当たりの平均残食量 (g)	順位
つばき	0	1
きり	29	
うめ	36	
かえで	58	
さくら	17	2
もも	61	
まつ	55	
たけ	24	3

主な取組② 節水・節電



雨水をためて植物の水やりに使うことは節水だけでなく植物への優しい水やりにもなります。手洗いや歯みがき中は、水道は出しっぱなしにしません。スマートクロックの導入で電気の使いすぎを可視化しています。



〒963-8041 福島県郡山市富田町字十字字31
【H P】 <https://www.kibogaokakodomoen.ed.jp/>
【TEL】 024-951-0443
【MAIL】 kibogaoka@amail.plala.or.jp (担当：滝田)





葛尾創生電力株式会社

主な活動場所：福島県葛尾村

主な取組①

葛尾スマートコミュニティの構築・運営



葛尾村の中心部に太陽光発電設備と蓄電池、全長5kmの自営線による「葛尾村スマートコミュニティ」を構築し、運営しています。電力の地産地消で村内に経済循環を生み、災害時には電力自立によって村民の生活を守ります。



主な取組②

福島県産再エネ利活用拡大事業への参加



県内の再エネ発電所の電力を県内の需要家（事務所・工場等）に提供する事業に、小売電気事業者として参加し、地域内での再エネ流通による地域活性化に寄与しています。





主な活動場所：福島県郡山市を中心とした福島県内全域

主な取組①

EV充電スタンド普及設置事業



郡山市駅前で運営する「161パーキング（郡山市駅前二丁目12番5号）」において、電気自動車（EV・PHEV）用充電スタンドを17台設置し、2023年1月12日より運用を開始しました（設置当時、福島県内最大規模）。

電気自動車の普及に対応した充電環境を整備することで、環境に配慮したエネルギー利用の促進およびCO₂排出量の削減に取り組んでいます。また、郡山駅前に充電設備を設置することで、交通利便性の向上と持続可能な交通インフラの整備を図り、環境にやさしく住み続けられるまちづくりの推進に貢献しています。



【161パーキング EV充電スタンド設置状況】

電気自動車用（EV・PHEV）用
充電スタンド設置しました。

EV 200V CHARGING POINT

17台注①（普通200V）
福島県内最大の設置台数

2 WeChargeアプリ注②
WeChargeのアプリをダウンロード
車登録or料金プラン選択で利用可能

ご利用案内

利用時間 …… 24時間
対応車種 …… EV、PHEV車
充電ケーブル …… なし
ご利用者様自身で
ご準備ください
駐車料金 …… 必要です
通常料金が発生します

4 青色が目印
場内の案内に従って4階まで、
4階の西側と北側に青いカーが
充電スタンド設置場所になります。

5 SDGs に貢献

注① 4階以上の充電スタンド14台の設置に付随して、仮設エレベーターが共用の。
「福島県内で唯一の建設会社によるEV充電スタンド」です。
また、駐車料金も、全県平均より20%の低料金で提供します。
注② WeChargeの登録・利用が前提です。詳細はご確認ください。

161パーキング
郡山市駅前二丁目12-5
024-922-0161

161
PARKING

主な取組②

パートナーシップとの地域貢献活動



男子プロバスケットボールB.LEAGUE B2所属の福島ファイヤーボンズを運営する福島スポーツエンターテイメント株式会社とSDGsパートナー契約を締結し、地域貢献活動に取り組んでいます。本活動の一環として、郡山市内の学校へバスケットボールの寄贈やプロのコーチ・選手によるクリニックの実施、試合観戦チケットの寄贈を行うとともに、社員・家族・協力会社へも観戦機会を

提供し、子どもたちをはじめ多くの方がプロスポーツに触れる機会の創出に努めています。

これらの取組を通じて、子どもたちの健全な育成を支援するとともに、地域との連携を深め、活力ある地域社会の形成に貢献しています。



【寄贈バスケットボール】



【ボンズアリーナ】

〒963-8852 福島県郡山市台新二丁目21番13号

【HP】 <https://www.kaneta-const.co.jp/>

【TEL】 024-922-3995

【MAIL】 takahashi@kaneta-const.co.jp（担当：高橋）





株式会社亀岡工務店

主な活動場所：福島県福島市、会津若松市、南会津郡

主な取組

古材の再利用による 主な取組 二酸化炭素排出量の削減



日本の伝統的な木造建築物である古民家。その場でリノベーションされて再度利活用されることが最も望ましいことであり、持続可能な循環型建築社会へ寄与します。

しかし、一方では、維持することが困難となり、やむを得ず解体されてしまったり、解体することもできず放置されてしまっているものもあります。

解体処分されれば、そこで使われていた多くの木材からはCO₂が発生してしまいます。

日本が世界に誇る伝統建築である古民家で使われていた、太い梁等、立派な木材を、後世に良い状態で残せるようにあらゆる手段を考えていきます。

例えば古材を海外に輸出し日本の文化とその国の文化を融合させ、新たな日本建築の普及を海外で展開します。

CO₂の削減は勿論ですが、それにかかわる若者の育成、世界各国の技術者とのパートナーシップで、日本の伝統文化を世界に普及させます。

福島の木材を使ったこの取り組みは、福島だからハードルは高いですが、福島だから必ず達成したいと考えております。

2024年には、フランスのパリ日本文化会館にて、木材のリユースと大工さんの育成に関するシンポジウムを開催。現地の方々との意見交換をさせて頂きました。今後も更なる木材リユースによるCO₂の削減を進めてまいります。



【台湾に輸出されリユースされる福島の古材と木材】



日仏木造建築文化交流シンポジウム
～持続可能な木造建築と大工・職人の技術継承～



【台湾、フランスに広がる、福島の古材、木材の再利用を目指すパートナーシップ】

〒960-2154 福島県福島市佐倉下字前3番地
【H P】 <https://kameokakoumuten.jp/>
【TEL】 024-593-1717
【MAIL】 masaokameoka@gmail.com (担当：亀岡)





神田工業株式会社

主な活動場所：福島県鏡石町

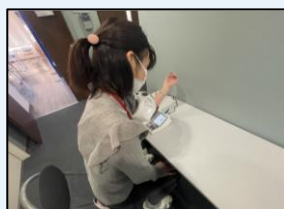


主な取組① 健康経営

自社でプロデュースした塩分ケアサプリメント「むくまんもん」の社内販売、一般販売で、血圧上昇によるリスクの軽減に向け活動を行っています。

その他、SNSやHPを活用し、減塩のためのレシピやむくみ解消・肩こり改善などを解消するストレッチ情報を発信することによって、社内での健康経営や、多くの方の健康な毎日のサポートを行っています。

家族や会社の同僚、友人をはじめ広く世界中の方が血圧リスクで悩むことが無いように活動を続けていきます。



主な取組② 就労支援施設の支援



従業員向けの福利厚生イベントとして、就労支援施設で製作いただいたお菓子を配布しました。毎年行っているクリスマスにお菓子を配布する機会に「作る側」も「食べる側」もみんながハッピーになれるものを、と企画し、姫路・福島・熊本の全拠点で就労支援施設様の手作りクッキーを配布しました。誰もが何気なく食べているお菓子も作り手がいること、1つのお菓子が就労支援につながることに気づく機会になればと取り組んでいます。



〒969-0402 福島県岩瀬郡鏡石町大宮360-5 神田工業株式会社 福島工場
【H P】 <https://www.kanda-kogyo.co.jp/>
【TEL】 0248-62-6135
【MAIL】 keiko_kobayashi@kanda-kogyo.co.jp (担当：小林)





株式会社共和建商

主な活動場所：福島県白河市



主な取組①

KYOWA大感謝祭、見学会の開催

地域貢献・地域おこしのために、地元住民の方々や地元小学生を招待し、毎年開催しています。屋台や中古重機抽選会などの運営も全て社員で行っており、部門連携・社員成長の場として社員が自主的に取り組めるよう運営しています。

また、メーカー様の展示コーナーや中古重機抽選会も設けており、取引先も含めて携わる方すべてが幸せになれるよう取り組んでいます。地元小学生を対象とした見学会では、普段触れ合うことができない働く車の体験や質問コーナーなどの場を設け、子ども達に社会体験の機会を作っております。



【大間のまぐろ解体ショー】



【無料屋台コーナー】



【地元小学生
高所作業車体験】



【地元小学生会社見学】

主な取組②

地域生産者応援プロジェクト



地域貢献・地産地消の促進のため、雑貨販売部門の陽気屋をメインにSNSで発信、店舗販売のほか、全社的に消費促進に取り組んでいます。地域でもまだまだ知られていない、たくさんの良い商品や魅力的な人がいることをSNSやブログで発信することで広く知ってもらうきっかけ作りをしています。販売直後に即完売となるほどの人気商品も出てきており、出品者様からご好評をいただいております。この取組みを通し生産者様と消費者様のつながりを築く橋渡しと地域の良質な生産品の周知、ひいては継続した取組み運営にもつなげることができております。



【地元農家様の梨の販売】



【新米の販売】



【陽気屋の外観】

〒961-0015 福島県白河市田島館ヶ崎4-1
【H P】 <https://www.kygp.com/>
【TEL】 0248-29-2231
【MAIL】 info@kygp.com (担当：荒井)





光建工業株式会社

主な活動場所：白河市 南湖森林公園

主な取組

みんなの里山を未来へ 「企業の森林づくり活動」実施



令和元年東日本台風の大雨被害により、一部が荒れ地となっている白河市・南湖森林公園内で福島県が主催する「企業の森林づくり活動」として、植林活動を開始しました。

福島県・白河市・光建工業株式会社の3団体間で「森林づくり協定書」を締結し、令和6年度から令和10年度までの5ヶ年計画にて、公園内の計1,574㎡の協定エリアに植林を行う予定です。

令和7年(2年目)は11月1日に光建工業の社員13名、光建会(協力会)の会員17名の計30名にて、256㎡の敷地に約40本の植林活動を行いました。



【活動お知らせ看板を設置しました】



【令和7年度の植林実施の様相です】

〒963-8811 福島県郡山市方八町二丁目13番9号

【H P】 <https://koken-kk.co.jp/>

【TEL】 024-941-3200

【MAIL】 sakurai@koken-kk.co.jp (担当：管理部 櫻井)





桑折町SDGs推進町民会議

主な活動場所：福島県桑折町

主な取組①

マリカ先生のSDGs講演会



桑折町SDGs推進町民会議と桑折町は、SDGsの普及・啓発を目的に、講演会を行っています。今年度は、「楽しく学ぼうSDGs！マリカ先生のSDGs講演会」を開催し、講師のマリカ先生がクイズを交えたSDGsの講演やサイエンスショーを行い、子どもから大人まで100名が楽しくSDGsを学びました。講演会とあわせて、町内でSDGsの取組みを推進している3団体が取組み紹介を行い、SDGsの推進を呼びかけました。



【講演会チラシ】



【サイエンスショー】



【取組み紹介】

主な取組②

桑折町SDGs川柳コンクール



「SDGs」をテーマに、家庭や事業所でSDGsを考えるきっかけづくりとして、SDGs川柳を募集。全国から2017作品（大人の部1859作品、子どもの部158作品）の応募があり、大人の部4作品、子どもの部4作品が入選作品として選ばれました。

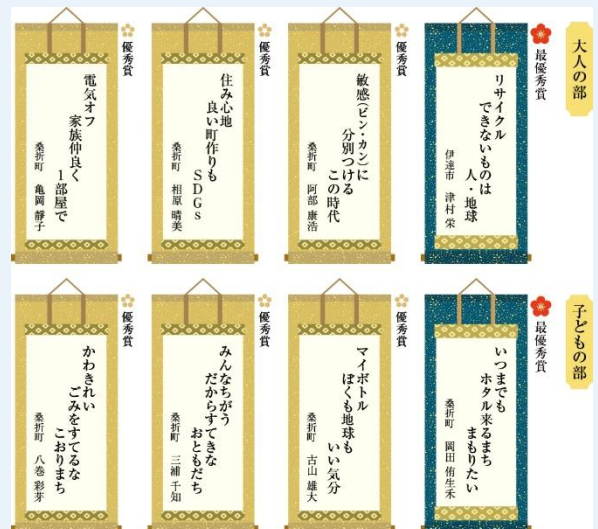
今後、入選作品を活用した啓発ポスターを作成し、広くSDGsの普及・啓発を呼び掛けていきます。



【募集チラシ】



【表彰式】



【入選作品】

〒969-1692 福島県伊達郡桑折町大字谷地字道下2-7 (桑折町役場総合政策課内)

【HP】 <https://www.town.koori.fukushima.jp/>

【TEL】 024-582-2115

【MAIL】 seisaku@town.koori.fukushima.jp

(担当:本田)





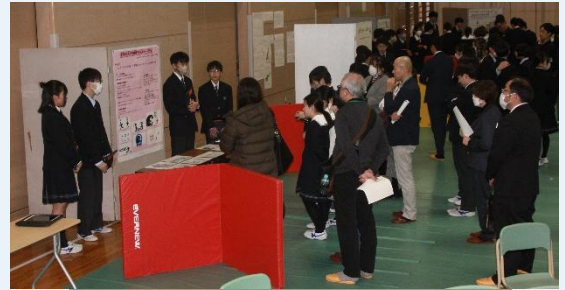
主な取組

ミライ×ジブン探究

総合的な学習の時間において、中学1, 2年生が異学年チームを組み、企業・団体と連携した課題解決型の探究活動を行っています。「社会を知る」「自分を知る」活動を通して、“少しでも社会を変えることができた”という経験をしてほしいと考えています。また、3年間の活動を通して、生徒の「社会貢献」と「自己実現」を目指します。2月末には、成果発表会を行い、自分たちの考えや取り組みについて提言という形で伝えます。



【日々の活動の様子】



【成果発表会のようす】

〒963-0102 福島県郡山市大槻町字古屋敷102番地
【HP】 <https://www.xaverio.ed.jp/jhs/>
【TEL】 024-952-7756
【MAIL】 arai@xaverio.ed.jp (担当名) 荒井





主な活動場所：福島県こおりやま広域圏



主な取組① こおりやまSDGsアワード

こおりやま広域圏においてSDGs達成に向け、優れた取組を行う企業、学校、団体等を表彰する「こおりやまSDGsアワード」を2019年度から実施しています。

身近な地域でSDGsに取り組む企業や学校等を表彰することにより、SDGsの理解・普及を図るとともに、SDGs達成へ向けた取組みを活性化させていくことを目的としています。

受賞した団体の取組はパネルにして表彰式会場に展示したほか、新聞広告に掲載するなど、幅広くPRしました。



【第7回SDGsアワード表彰式】



【Project Voice】

受賞された企業等の取組を、若い世代を中心とした幅広い層に届けるため、ショート動画を作成し、SNSで発信しています！

市ウェブサイトではインタビューを中心とした詳細な記事を掲載するなど、受賞された団体等の取組みを幅広くPRしています。



【公式Instagram】



主な取組② みんなで目指す「郡山 ごみ減量 20%」



本市が抱える課題の一つである、市民一人当たりのごみ排出量・中核市ワーストを返上するため、「郡山 ごみ減量 20%」のスローガンのもと、市民・事業者・行政が一丸となったごみ減量に向けた取組を実施しています。

手前どり運動やフードシェアリングサービス「こおりやまタバスケ」などの食品ロス削減する取組や、事業者との官民連携型リユース拠点「ジモティースポット」の新店によるリユースの推進など、様々な取組を実施しました。

このほか、ごみ減量につながる様々な情報を市ウェブサイトから発信しています。



【郡山 ごみ減量 20%】



【コンビニや市役所内のごみ箱にごみ減量20%ステッカーを貼付し啓発】



【東北初出店の官民連携型リユース拠点「ジモティースポット郡山希望ヶ丘店」】



【ごみ減量の具体的な取組を動画でわかりやすくお知らせ】





こまがた元気会

主な活動場所：福島県喜多方市



主な取組①

空き家の撤去と更地を利用したマルシェや集いの場づくり

現在は利用されていない空き倉庫を解体撤去してその場所に「こまがた元気マルシェ」（地域農産物の直売所）を作りました。現在では地域の人たちが井戸端会議を行う場にもなっています。その他に空き家をリフォームして出来た集いの場「駒形げんき交流館」（通称 よっか）も更なる集いの場として多くの地域住民が利用されています。



主な取組②

「こまがた元気マルシェ」破棄0（ゼロ）リユース運動



こまがた元気マルシェでは傷のついた野菜やサイズの小さな野菜、いわゆる規格外の野菜を無料提供、または安価販売しています。今後の活動としては空き家に取り残された食器や家具などを回収して必要な方に無料提供して再利用活用していく活動計画も進めています。



〒969-3504 福島県喜多方市塩川町中屋沢字竹屋丙30-1
【H P】 <https://komagata-genki.com>
【TEL】 090-6503-2862
【MAIL】 komagata.tsubaki@gmail.com（担当：椿）





株式会社こんの

主な活動場所：福島市

主な取組①

ばあばとじいじのごはん処



当社で経営する「大戸屋福島北矢野目店」にて9月21日の認知症の日に合わせて、注文を間違っても大丈夫！をモットーに認知症の方と地域の学生ボランティア達と一緒にばあばとじいじのごはん処を開催。認知症の方々を通して地域の人々が集い、支えあい、共に地域を創っていく。とっても温かい空間が出来ました。



主な取組②

認知症養成講座の受講



少子高齢化に伴い増加する高齢者の生活課題の解決に向け、当社は社員が認知症サポーター養成講座を受講し、認知症への正しい理解と適切な対応力を備えた人材を育成いたします。家財整理をはじめとする生活支援を、安心・信頼のもとで提供できる体制を構築してまいります。



〒960-8032 福島県福島市陣場町2-20
【H P】 <http://www.konno.gr.jp>
【TEL】 024-524-2345
(担当名：澤野)



主な活動場所：福島県いわき市

主な取組① 学生服回収BOXの設置



○ 学生服回収BOXの設置を通じて
学生服回収BOXは、ご家庭で着られることなくなった学生服を入れていただくためのBOXです。子供の貧困を支援するため、政府（内閣府）が主体でおこなっている「子供の未来応援国民運動」の一環として さくらや いわき店では、まだ着られる学生服の活用のため、学生服回収BOXの設置をおこなっております。

● 学生服回収BOXは、次のように運用されます。

- ・ ご協力いただく企業・店舗などに学生服回収BOXを設置
- ・ お子様の着なくなった学制服をBOXに入れていただきます
- ・ 回収した学制服をさくらや いわき店で査定します
- ・ 査定した額を「子供の未来応援基金」に寄付します
- ・ 回収された学生服は洗濯、補修等のメンテナンスを行い、新品に比べ10分の1～3分の1程度の価格でリユース品として当店で再販いたします



イオンモールいわき小名浜・大東銀行 いわき管内に学生服回収BOXを設置頂いております

主な取組② ランドセルの再利用へ



○ ランドセルについて
当店へ集められたユーズドのランドセルは、必要とする子供たちへ無償で配布を行っております。
また、ユーズドのランドセルは、海外に送って発展途上国の子供たちへポリオワクチンを提供する協力もおこなっています。思い出の学生服を次の世代に『バトンタッチ』する架け橋に！また、学生服を通じ物を大切にする！（最後まで使い切る）このことを皆様に伝えていければと思っております。



卒業や転校、サイズが合わなくなった・など使わなくなった学生服や体操着も、まだ必要としている人がいます！

そんな学生服を『さくらや いわき店』にお持ち下さい！

来春入学を迎えるお子様へ必要としているお子様へ無償にて**プレゼント**





合同会社シナプス

主な活動場所：福島県南会津町、只見町

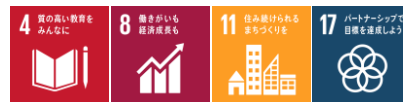
主な取組①

SDGs / カーボンニュートラル カードゲーム研修

- 【町役場向け】 2020年 南会津町役場向け SDGs 研修
- 【社会人向け】 2021年度 只見町社会人教育プログラム 全4回
- 【学生向け】 2021年：只見町 中学生向け 出張授業 1校
- 【学生向け】 2022年、2023年：南会津町 中学生向け 出張授業 4校



【講座の実施風景】



令和4年度 大人のためのSDGs講座
誰一人取り残されない社会をつくらう！

子どもたちが学び取り組んでいるSDGsについて楽しく学べます！
これからの社会で使える知識です。ぜひに参加ください。

講師 合同会社 Synapse 竹元 紳一郎 氏
会場 朝日興業センター 2階ホール **参加費 無料！**

開催日時

- 第1回 7月7日(木) 18:00~20:00 座学と体験ゲーム
SDGsの基本理念を知ろう
- 第2回 8月4日(木) 18:00~20:00 座学
SDGsの取組事例を知ろう
- 第3回 10月6日(木) 18:00~21:00 ワークショップ
2030SDGsカードゲームを体験しよう
- 第4回 11月10日(木) 18:00~21:00 ワークショップ
SDGsのために行動しよう

※連続して参加していただくことを推奨しますが、単回の参加も可能です。

お問い合わせ・申込み 只見町教育委員会 **申込みが 6月24日**
電話 0241-82-5320 メール eyougaku@town.tadami.lg.jp

【ESD, SDGs 講座チラシ】

主な取組②

みんなの冷蔵庫 只見町の間伐材でネームタグ

- みんなの冷蔵庫
賞味期限切れ近い食品を譲り受け
貧困家庭へ譲渡しています。
(埼玉県草加市にて展開)
現在、企業や自治体と共同運営する候補を探しています。



【みんなの冷蔵庫】

- 福島県只見町の間伐材でつくる ネームプレート 事業
只見町の間伐材でつくる ネームプレートの販売・
デザインを弊社で作成しました。
製作を只見町の木工職人へ依頼し、只見町への
売上貢献と、森林保全事業への寄付をしています。



【SDGs ネームタグ】

〒166-0012 東京都杉並区和田1-33-28-213
【HP】<https://www.synapse-llc.co.jp/>
【TEL】03-4500-7278
【MAIL】stakemoto@dreambase.jp (担当：竹元)





主な取組① 女性に寄り添うライフ・ワークサポート事業



働きたいと考えているものの子育てによるブランクにより就職に不安がある女性などを対象に、就職または再就職への支援を図ることを目的として、働く上での心構えや基本スキルを学ぶ『セミナー・ワークショップ』、就労相談や求人のあっせん等を無料託児サービス付きで行う『個別相談会』、短時間勤務・ワークシェアリングを取り入れた就労支援モデルの仕組みづくりのための『実証実験』、女性の働き方に理解のある企業との交流を通じて雇用促進と多様な働き方を推進する『企業見学バスツアー・インターンシップ』などを実施しています。



主な取組② 市内一斉清掃



地域の環境美化と市民一人ひとりの環境意識の向上を目的として、市内一斉清掃を実施しました。当日は、多くの市民の皆さまにご参加いただき、市内各所の道路や公園、河川敷などに分かれ、清掃作業に取り組みました。

清掃活動を通じて、参加者同士が声を掛け合いながら協力して作業を進める姿が見られ、地域のつながりや連帯感を再確認する有意義な時間となりました。清掃後は、市内各所が見違えるほど美しくなり、参加された皆さまからも達成感や満足の声が多く聞かれました。

今回の市内一斉清掃は、まちの美化だけでなく、環境を大切にすることを育む大切な取り組みです。本市では、今後も市民の皆さまと協力しながら、清潔で住みよいまちづくりを進めてまいります。





セコムエンジニアリング株式会社

主な活動場所：福島県郡山市

主な取組①

社内ゴミの分別・地域清掃活動の実施



社屋内のごみ箱を分別可能な形で増設し、適切な分別による焼却ごみの排出量削減とリサイクルの推進による自然環境への負荷軽減を図っています。

また、郡山市道路維持課主催の「アイラブロード事業活動」に参加し、地域道路周辺の清掃活動にも積極的に取り組んでいます。

このように社内外で環境に配慮した活動を継続して実施しています。



【社内のゴミ箱分別】



【アイラブロード事業活動】

主な取組②

社内ウォーキングイベント



社員一人ひとりの健康意識の向上を目的として、社内ウォーキングイベントを開催しました。

従来のウォーキングに加え、サイクリング・スイミング・筋トレ・ランニング・なわとびなどの運動を歩数換算できる取り組みを行ってききましたが、今回は新たに「野球」「サッカー」「町内運動会」など、身体活動全般を対象とした「その他運動」を追加し、より幅広い運動が歩数に反映できる内容としました。

全体上位3名および年代別1位の方には健康グッズを、また目標歩数（1日平均8,000歩）を達成した参加者全員に賞品を贈呈するなど、例年以上に楽しみながら取り組めるイベントとなりました。



【関東方面事業所での一駅歩く様子】

【ウォーキングイベントポスター】

〒963-8851 福島県郡山市開成四丁目8番15号

【H P】 <https://www.secom-tep.co.jp/>

【TEL】 024-935-3555

【MAIL】 step-info@secom.co.jp





主な取組①

新聞紙バッグ作製および普及活動



日本海側の海岸に漂着したプラスチック類のごみの多さから着想を得て、プラスチック製のレジ袋の使用量削減を目的として、新聞紙を原材料としたエコバッグの作製と普及活動を行っています。

全校生でエコバッグを作製し、協力していただいている町内企業の店舗などで新聞紙バッグを配付しています。また、今年はSDGs講習会を開き地域の方にSDGsの概要や新聞紙バッグの作り方を広める活動を行いました。その成果として、地域の方々からも新聞紙バッグを100個寄付していただきました。これからも、取組の内容の充実を図り、活動の普及を行っていきます。



【新聞紙バッグ】



【SDGs講習会】



【新聞紙バッグ寄付】

主な取組②

SDGs探究学習



今年度は、1学年「自然」、2学年「産業」、3学年「社会」というテーマで探究学習を行いました。「持続可能な社会をつくろう」という学校テーマのもと、自分たちが住む只見町をより発展させるためにはどうしたらよいか、只見町ならではの自然を守り、そして生かしつつ、少子高齢化・過疎化などの問題を解決するための方法などについて探究活動を行いました。

探究活動におけるSDGsの関連項目を経験や学び合いから結びつけることができました。



【発表の様子】



【地域学習】





伊達市

主な活動場所：福島県伊達市

2 質をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



12 つくる責任 つかう責任



15 陸の豊かさもやろう



主な取組

学校給食と生産現場を繋ぐ農業体験について

農業体験を通じて、食や生態系、地域資源について学び、農業や環境等についての知識を深めることを目的としています。

児童は地元の作物の収穫体験をし、さらに出荷の様子を見学することで、農家の楽しさや苦勞を直接学んでいます。さらに、収穫した農作物について栄養講座を受けた後、その作物が給食として提供され、児童は実際に味わいながら産地の魅力や特性を理解します。

このような体験を通じて、食の大切さや地元農業への関心を深めています。



【きゅうりの収穫体験】

〒960-0692 福島県伊達市保原町字舟橋180番地

【HP】 <https://www.city.fukushima-date.lg.jp/>

【TEL】 024-575-1142

【MAIL】 seisaku@city.fukushima-date.lg.jp (担当：角田)





玉川村

主な活動場所：福島県玉川村



主な取組

SDGs 美しい村づくりリユース購買部活動

令和7年11月にすがまプラザ交流センター（※1）で開催された「第11回こわたま市」（※2）にて、環境啓発活動を実施しました。

フリーマーケットによるリユース促進と併せ、子ども向けの「ごみ分別体験コーナー」を設置。多世代が集う地域イベントを通じて、廃棄物削減の意識醸成と、次世代への環境教育を同時に実践しました。

（※1）旧須釜中学校を改修し、コワーキングスペースや交流スペース、行政センターの機能を有する「職」「住」「遊」「学」の拠点。

（※2）すがまプラザ交流センターで開催される、地域密着型のマーケットイベント。ハンドメイド雑貨の販売やキッチンカーの出店、ワークショップなどを通じて世代を超えた地域交流と賑わい創出を目的に開催。



〒963-6392 福島県石川郡玉川村大字小高字中畷9

玉川村企画政策課 担当：中田

【HP】 <https://www.vill.tamakawa.fukushima.jp/>

【TEL】 0247-57-4628

【MAIL】 kikaku@vill.tamakawa.fukushima.jp





特定非営利活動法人チームふくしま

主な活動場所：福島県福島市

主な取組①

防災事業



ひまわりを活用した東日本大震災復興事業「福島ひまわり里親プロジェクト」をさせていただいています。全国の人々が“里親”となりひまわりの種を育て、採れた種を福島へ送り、その種を福島県内の人々が育て、採れた種を福祉作業所で搾油後、バイオディーゼル燃料に精製し、福島市内を走る循環バスの燃料の一部等に活用します。日本全国と福島の絆を深め、福祉作業所で働く障がい者の雇用創出や防災教育の推進、「ひまわり結婚式」や「ひまわり甲子園」等のイベント開催を通じて福島県の観光促進に繋げています。また、震災・原発事故についての伝承伝達および防災意識を高めることを目的に、「ひまわり防災検定」を実施しています。



【ひまわり結婚式で挙式された新郎新婦】



【福祉作業所で働く利用者の作業風景】



【全国の参加者より福島へ届いた種から咲いたひまわり（田村市）】



【ひまわり防災検定受験の様子】

主な取組②

次世代育成事業



「お互いさまチケット」の普及や無人型子ども食堂「コミュニティフリッジひまわり」を通して、思いやりと感謝が循環する街「お互いさまの街ふくしま」の実現を目指す共助の取り組みです。

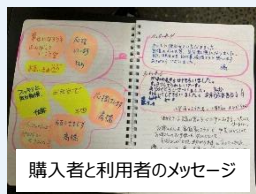
「お互いさまチケット」は、お客様がチケットを購入する事で、他のお客様が無料または低価格で食事やサービスを受けられる仕組みです。様々な業種で導入されており、利用者と購入者の区別が付きにくく、困窮世帯にも利用しやすいです。チケットを通じて子ども食堂や体験の貧困解消、寄付や恩送りの体験にもなり、導入企業・団体側は負担少なくSDGsが気軽にできる団体や企業の価値創造ができ、働く人の喜びや採用、職場内、顧客との関係性の質の向上に繋がります。寄付者はチケットが気になり来店動機やマーケティング、SNS投稿等広告にも繋がり、寄付文化向上にも寄与する仕組みです。設置団体や企業、チケット利用者、寄付者、世間の四方よしのモデルとなっています。全国131ヶ所、海外2ヶ所で導入。

無人福祉型子ども食堂「コミュニティフリッジひまわり」は、出入口が電子ロック管理の為、利用者は利用時間内に自由に出入りできます。就学援助や児童扶養手当、奨学金の受給者を対象に、人目を気にせず利用できる仕組みで、400人以上が利用しています。寄付品の陳列や掃除を福祉作業所が担い雇用創出に繋げ、福祉作業所がチェンジメーカーとして社会課題を解決するメンバーとして活躍しています。福祉作業所のお仕事になる為、利用者の皆様が利用しやすい「福福連携モデル」としてソーシャルデザインの場所です。利用者が自立できるよう、就職情報や相談場所の情報も掲示・発信し、支援しています。持続可能なモデルとするべくマンスリーサポーターを募集させていただいています。

お互いさまの街ふくしまは会員制で、会員となった企業、店舗には研修動画や資料等を送らせていただき、導入後はSNS等で発信させていただきます。



導入の様子



購入者と利用者のメッセージ



【ホームページ】



【紹介動画】



室内の様子



利用者や寄付者からのメッセージ



【ホームページ】



【紹介動画】

〒960-8055 福島県福島市野田町6-7-8 ツインコートB103
【H P】 <https://www.sunflower-fukushima.com/index.html>
【TEL】 024-563-7472
【MAIL】 info@sunflower-fukushima.com



団体まとめサイト 理念 動画





主な活動場所：福島県天栄村

17 パートナシップで
目標を達成しよう



主な取組① 天栄村SDGs宣言制度「てんえいSDGsパートナー」

SDGsを村全体で推進するため、SDGsの取り組みを行う村内の企業や団体、教育機関などを「SDGsパートナー」として認定し、認定証を交付しています。

パートナーの取り組み内容は、村広報誌やホームページで紹介し、取り組みのPRを図っています。



【認定証交付式の様子】



【村広報誌への掲載】

主な取組② 教えてSDGsチャレンジシート

SDGsに関する知識を深め、一人ひとりが自分事として取り組みを実践することを目的として、村生涯学習センター図書室にSDGs書籍コーナーと「教えてSDGsチャレンジシートポスト」を設置し、チャレンジを投稿した方に、村オリジナルSDGs缶バッチをプレゼントしています。



【SDGs書籍コーナー】



【チャレンジシートポスト】





主な活動場所：福島県福島市

主な取組

移住・転入者が暮らしやすい福島づくり



福島県に移住・転入した方（主に女性）の転入後の福島での暮らしをサポートしています。移住・転入者の悩みやニーズに対応し、

- 「1.仲間や地域とつながるキッカケづくり（座談会、まちあるきツアー等の開催）」
- 「2.自分らしく働くキッカケづくり（有料職業紹介、WEBライティング、在宅ワークの受注）」
- 「3.福島の暮らしの情報発信（独自WEBメディア「tenten fukushima」の運営）」
- 「4.情報発信と交流の場づくり（県産品ギフトショップ「ent」の運営）」
- 「5.コミュニティづくり（SNSコミュニティの管理運営）」
- 「6.移住・転入者個別のフォローアップ」

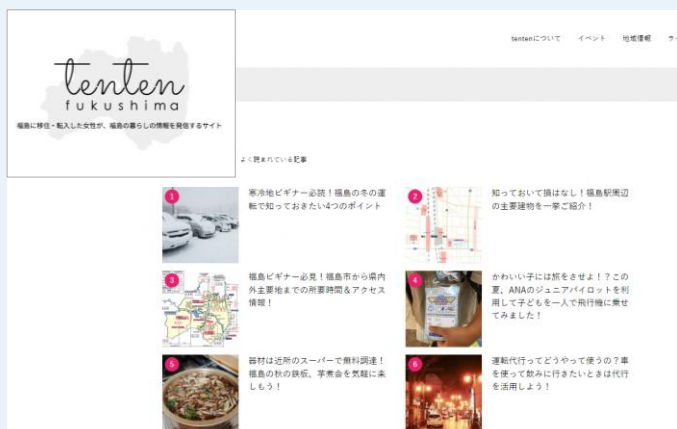
など転入者と地域が繋がるハブとなり、地域とwin-winになる事業に取り組んでいます。



【転入女性の座談会「tenten café」】



【暮らし目線のまち歩きツアー「まちとつながる旅」】



【独自WEBメディア「tenten fukushima」】



【県産品ギフトショップ「ent」】





東京海上日動火災保険株式会社 福島支店

主な活動場所：福島県内全域



主な取組① Fukushimaマルシェの開催@東京(本社ビル)

福島県の復興・創生を目的に、毎年東京エリアにてふくしまマルシェを開催しております。福島を代表する銘菓や日本酒、新鮮な果物や野菜等を販売されている県内事業者に出店いただき、東京にある弊社本社ビルにて開催しています。本マルシェを開催するにあたり、福島県様や東邦銀行様との連携協定を活かしながら企画・運営しております。当日は、内堀知事や佐藤頭取にも会場にお越しいたいただき、激励いただいているイベントです。出店いただいている事業者様からも感謝の声を頂戴しており、今後も継続して開催し、福島の復興・創生に貢献して参ります！

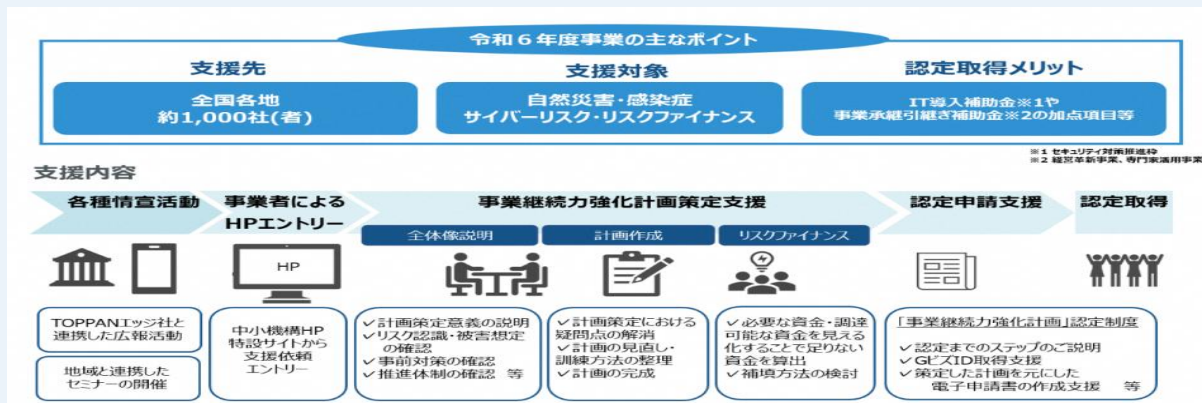


【ふくしまマルシェ2025の様子】

主な取組② 事業継続力強化計画及びBCPの策定支援



当社は企業が災害や予期せぬ事故にあった場合でも、持続的な事業運営ができるよう、全社として事業継続力強化計画やBCPの策定支援を行っております。現在では、地震・水災などの自然災害のみならず、サイバー攻撃といったリスクに対しても備えるよう計画を策定しております。その他にも、企業の皆様の経営課題(人材採用、労務管理、備蓄品対応等)のお役に立てるソリューション提供も実施しております！



(プレスリリースから引用)

〒963-8570 福島県郡山市長者1-7-20 郡山東京海上日動ビル6F
【H P】 <https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>
【TEL】 024-523-1161
【MAIL】 MAIL3338@tmnf.jp (担当：安上)





一般財団法人 とうほう地域総合研究所

主な活動場所：福島県内全域

17 パートナシップで
目標を達成しよう



主な取組①

機関誌「福島の進路」等による情報発信・情報共有

当研究所の機関誌「福島の進路」において、SDGsに関連する様々な記事を掲載し、読者の皆さまに役立つ情報や企業・団体の先進事例などを発信しています（冊子版・デジタル版いずれも無料）。

- ①「企業訪問」シリーズにおいて福島県で活躍されている企業やSDGsなどに取り組む企業・団体等の取材記事や寄稿を全国に向け発信しています。
- ②景気動向調査、人口推計、雇用動向、時事的なテーマでの自主研究レポートを公開しています。
- ③東邦銀行のサステナブルファイナンスの対象プロジェクトに対し第三者オピニオン（評価書）を作成し、SDGs推進に関する先進的な事例を紹介し意識熟成を図っています。



主な取組②

地域密着型リサーチ&コンサルティング

東邦銀行グループをはじめとした外部協力機関とも連携しながら、より専門的な知見に基づいた高度な経営課題の解決を支援するとともに、自治体や経営者の皆さまの立場に立った地域完結型のコンサルティング体制を構築しています。

コンサルティング業務においては、地域密着型のコンサルを行い幅広い業種に対応しています。また、当研究所のコンサルタントが「第4回日経統合報告書アワード」において昨年に引き続き一次審査を行い、日本を代表する上場企業が行っているサステナブル経営の評価に真摯に取り組みました。

リサーチ業務においては、地方公共団体のアンケート調査業務を担い、政策の立案の基礎資料となる報告書を作成しました。

- ・様々な分野において経験豊富な専門家集団のプラットフォームを当研究所内に形成。
- ・とうほう地域総合研究所のコンサルタントとして、自治体の皆さまや企業経営者の皆さまに寄り添ったコンサルティングを展開します。
- ・また、必要に応じて外部コンサルティング会社や学術機関・金融機関等とも連携し、常に最善のコンサルティングサービスを提供できるネットワークを構築しております。



【日経統合報告書アワードの概要】

主催：日本経済新聞社
 参加者：統合報告書を作成している主に上場企業
 審査対象：参加発行体の「統合報告書」
 表彰：グランプリ・E賞・S賞・G賞・準グランプリ・
 優秀賞・新人賞





東レフィルム加工株式会社福島工場

主な活動場所：福島県鏡石町

主な取組①

環境に配慮した包装材料の開発・販売



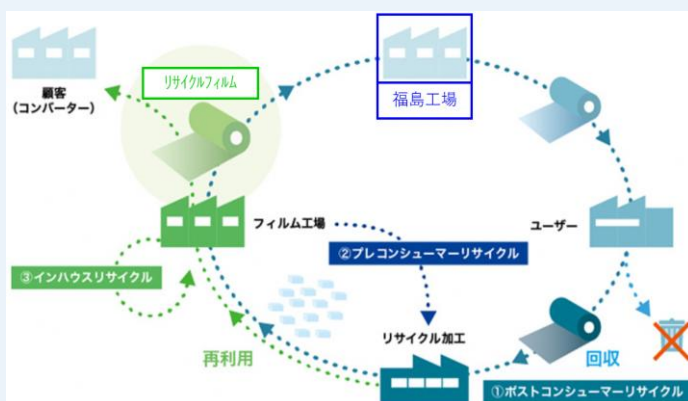
サステナブル構成としたレトルトパウチ開発により、湯煎から電子レンジ加熱が可能となり、加熱時に発生するCO2を80%削減、プラスチック使用量も20%削減しています。また、食品包装材料を単一素材で複数機能とするモノマテリアル化製品を開発し、リサイクル・再生利用が容易としたり、従来廃棄されていた、お客様ご使用後のフィルムを回収・リサイクルすることで、製品製造までに排出するCO2を最大50%削減した循環型リサイクルフィルムを使用した製品を開発・販売しています。

【レンジ対応レトルト透明パウチの開発・販売】

【循環型リサイクルフィルム使用製品の開発・販売】

加熱時に発生するCO2を80%削減

湯煎加熱 	レンジ加熱
既存構成	サステナブル構成
①PET(印刷材)	①透明蒸着ハイバリアPET
②ONY(耐衝撃)	②耐衝撃性向上レトルトCPP
③アルミ箔(バリア)	
④レトルトCPP(熱シール)	
	総厚み21%削減



主な取組②

省エネ、太陽光発電増設と社会貢献



省エネ機器への導入や更新等、省エネルギー活動に積極的に取り組んでいます。太陽光発電は2025年に新たに年間発電量1,666Mwhの設備を増設、稼働を開始しました。これによりGHGを794.7t-CO2削減します。

また、「ふくしまゼロカーボンへの挑戦」等、福島県の環境事業に2019年より参加し、2023年度は表彰制度にて製造業部門の優秀賞を受賞、普及啓発動画も撮影、公開いただきました。また、社会貢献活動として、工場周辺や鏡石町内の清掃活動等の貢献をしています。

【増設した太陽光発電設備】

【「ふくしまゼロカーボン宣言」表彰受賞】

【鏡石町内でのボランティア清掃活動】



〒969-0402 福島県岩瀬郡鏡石町諏訪町380-8

【HP】 <https://www.toray-taf.co.jp/>

【TEL】 0248-62-2200

【MAIL】 daisuke.kobayashi.s9@mail.toray

(担当：環境保安課 小林)





株式会社ナプロアース

主な活動場所：福島県伊達市

主な取組①

サーキュラーエコノミーの実現と世界標準化、リサイクル活動の認知活動



ナプロアースでは使用済み自動車を買取り「部品」や「素材」を生産・販売し「リユース」「リサイクル」する活動を進めています。生産した部品は業者向けの販売以外でも個人向け中古部品の市場開拓や、「リユース」「リサイクル」の啓もう活動をしています。リサイクルされた自動車は重量ベースで99%以上が再資源化され部品以外にも「フロン類」等を法に則って回収し、地球温暖化の阻止にも貢献しています。

ナプロアースではこれらのリサイクルに関する技術の世界標準化を目指し、普及していきます。

地域の小学生・中学生、地域住民の方々へリサイクル工場を知ってもらう活動として「工場見学」「リサイクルまつり」を開催し、のべ2,000人以上の方に参加していただきました。今後も地域の方々と交流しながら工場周辺の清掃活動、慈善活動を通じて新しい価値観を作り出しています。



主な取組②

災害に強いまちづくり支援



東日本大震災において自衛隊と協力し津波による被災車両を撤去しました。また2019年の台風19号による災害の際には水害による被災車両を自治体と協力し撤去のお手伝いを行ないました。

これらの実績により福島県伊達市、福島市と「災害時における車両等障害物除去に関する協定書」を締結しました。大規模災害が発生した際には自治体と協力し被災車両の搬送をお手伝いし速やかな復旧のお手伝いが可能となりました。

現在、他の市町村にも協定に関して働きかけを行っており、取り組みを広げております。



〒960-0719 福島県伊達市梁川町やながわ工業団地63-1

【H P】 <https://www.naproearth.co.jp/>

【TEL】 024-573-8091

【MAIL】 a-yatsu@naproearth.co.jp (担当：谷津)





株式会社二嘉組

主な活動場所：福島県郡山市



主な取組① 働きがいのある、働きやすい職場環境づくり

全ての社員が健康で、自身の能力を十分に発揮できるよう、健康経営とスキルアップに取り組んでいます。

<健康経営>

- ・協会けんぽの出前講座で運動機会を創出し、健康増進
- ・郡山市保健師さんによる「ベジライフ推進事業」で食生活改善
- ・ベジチェック測定器、血管年齢測定器、血圧計で健康状態を測定し、数値の話題で職場内コミュニケーションアップ

<能力アップ>

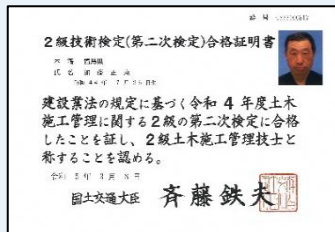
- ・資格や技能の取得を全面的に支援し、取得のための学習や講習会受講は就業時間内に実施可能、学びやすく、働きやすい環境づくり
- ・資格取得者には報奨金、手当の支給など、働きがいのある環境づくり



【出前講座の様子】



【ベジチェック測定中】



【国家試験合格証】



【資格取得で報奨金】

主な取組② 地域社会への貢献



・郡山市民の快適な環境づくりに貢献する「アイラブロード（道路環境美化）事業」で清掃奉仕活動に参加しています。



【「アイラブロード事業」清掃奉仕活動】

・郡山市の花いっぱいコンクールに、「二嘉組隣組会」として地域住民の方々と一緒に参加しています。



【側溝の土砂撤去奉仕作業】

・近隣の温泉施設周辺の側溝に堆砂した土砂の撤去清掃奉仕作業を実施し、蚊などの害虫発生を予防しています。



【花いっぱいコンクール】



【花いっぱいコンクール 花苗植え】





主な活動場所：福島県岩瀬郡鏡石町

12 つくる責任
つかう責任



主な取組①

廃棄PTPシートのマテリアルリサイクルによるCO₂排出削減

医療用医薬品(錠剤やカプセル剤)の製造過程で発生するPTPシート(プラスチックとアルミ箔を貼り合わせてできた包装材)の空シートや型抜き後の廃プラスチックを従来は焼却処分(サーマルリサイクル)として排出していましたが、プラスチックとアルミ箔をそれぞれ再資源化するマテリアルリサイクルへ転換し取り組んでいます。

マテリアルリサイクルの実施により廃PTPシートが産業廃棄物として排出する量が削減され、さらにCO₂排出量は焼却処分に比べ約94%の削減を実現しています。



主な取組②

ペットボトルキャップ回収活動

休憩スペースなど飲料自販機の横にペットボトルキャップ回収BOXを設置しています。鏡石町役場健康福祉課を通じて「世界の子どもにワクチンを日本委員会」へリサイクル収益の寄付によるワクチン支援活動に取り組んでいます。

3 すべての人に
健康と福祉を



12 つくる責任
つかう責任





日本クリーンシステム株式会社

主な活動場所：福島県小野町



主な取組

ペットボトルキャップ支援（ワクチン寄付）

当社及び従業員の自宅から集めたキャップを回収業者に引き渡し、回収業者がキャップをリサイクル素材に換え、売却した利益がJCV（世界の子どもにワクチンを 日本委員会）に寄付されます。

当社は、集めたキャップを大阪本社へ送付し、大阪市内の回収業者へ引き渡しを行っています。



【キャップ回収箱】



【集めたペットボトルキャップ】



【ワクチンのチラシ】



認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会 (JCV)

TEL 0120-555-895



お問い合わせ



資料請求



www.jcv.jp.org



〒963-3314 福島県田村郡小野町塩庭字向永志田3-67
【HP】<http://www.jcs-co.com/>
【TEL】0247-72-2900
【MAIL】yamanobe@jcs-co.com (担当：山辺)





主な活動場所：福島県内全域



主な取組①

『そなえる・ふくしま2025』出展

～防災について考えよう～

『そなえる・ふくしま2025』にて、地域の防災について、【楽しく学べる！体験できる！みんなが役立つ防災イベント】というテーマに沿って、来場者参加型の防災体験を行いました。

主な取り組みとしては以下3点。

- ・防災ジオラマ展示：小名浜海星高校水産クラブと連携した取り組みを紹介
- ・AR浸水体験：水害の多い福島県での啓発コンテンツを使用した仮想浸水体験
- ・福島県防災アプリの普及活動

《大事な3つのキーワード》

- 1.自分事
- 2.そなえる
- 3.マイ避難

《福島県防災アプリでそなえる》

- ・ハザードマップの確認
- ・避難所へのルート案内
- ・マイ避難シートの作成
- ・グループ安否
- ・備蓄リスト 等々



主な取組②

ひろえば街が好きになる運動

～“ひろろ”という体験を通じて、“すてない”気持ちを育てたい。～

そんな願いから生まれた市民参加型清掃活動です。全国各地のお祭や催事で、地域社会の皆様と連携して、ゴミをひろろ活動を2004年から行っています。

福島県内はもちろん全国各地で開催しております。落ちているゴミを拾うことで、マナー意識や街の環境美化について考えて頂くきっかけになることを願い活動しております。

《2025年活動場所》

福島わらじまつり
開催日：8/1(金)～3(日)

郡山うねめまつり
開催日：8/8(金)～9(土)

開成山公園 ※写真
開催日：5/31(日)



実績



参加人数
2,026,060人



集めたごみの重量
1011.8t



実施回数
2,892回



参加団体数
5,803団体

※2004年5月～2023年12月まで





主な活動場所：福島県内・東北管内

主な取組①

サステナブル・ブランド スチューデント・アンバサダープログラム (SBSA)



高校生に企業や他校生と一緒にSDGsを考えてもらう「スチューデント・アンバサダープログラム (SBSA) 東北ブロック大会」を実施している。東北各地から高校生に集まっていたが、東北で活躍する企業の話聞きながら、オピニオンリーダーのファシリテートのもと、ディスカッション行う。

※2026年は、**10月3日(土) 東北工業大学**にて実施いたします(日帰り)。

※参加希望の学校・生徒様は日本旅行東北福島支店へ是非お問い合わせください。



【SBSA実施時の集合写真】



【ワークショップの様子】

主な取組②

教育旅行プログラム開発



サステナビリティを学ぶことを目的として、地域が抱える社会課題を知るだけでなくその解決に向けた取り組みを体験して学んでいく探究学習型教育旅行プログラムを地域の事業者様や自治体様と共に開発し、誘客等を行っている。



【造成プログラム イメージ】





野木沢地区自治協議会

主な活動場所：福島県石川郡石川町



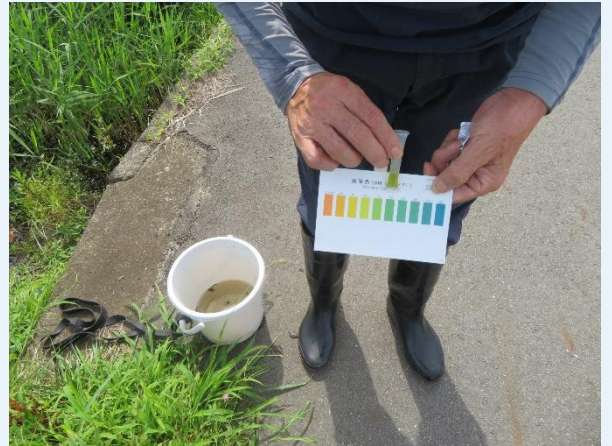
主な取組①

交通事故啓発活動（3-6）
水の汚染検査（3-9）

- 1.自治協議会「安全・安心部会」会議の実施
野木沢地区内交通死亡事故0件を目指しています。
- 2.ため池4か所の水質検査の実施



1.交通安全協会、防犯協の会議



2.地区内ため池4か所で実施

主な取組②

高齢者の交通手段を考える（11-2）
地域遺産保護活動（11-4）



- 1.野木沢長寿会連合会ワークショップ事業
- 2.地域遺産の保護活動



1.高齢者の交通手段をテーマ



2.前九年の役で出来た藤田城址の保全活動





林興業株式会社

主な活動場所：福島県いわき市

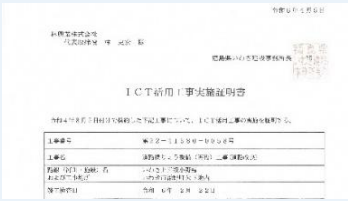
主な取組①

ICT施工を活用した施工管理



弊社ではICT機器・建機を活用した施工管理をおこなっております。施工した箇所を3Dレーザースキャナーで測量し、データを3Dソフトで読み込んで解析を行い、出来形・品質管理をしています。

今後もICT技術を活用した施工を積極的に導入し、安全・性能・環境性の向上を目指します。



【ICT活用工事実績証明書】



【3Dソフトによる点群データ解析と出来形品質の評価】



【ICT建機で活用した重機の確認】



【ドローンを活用した進捗数量の確認】

主な取組②

クリスマスイベントの実施



毎年12月に弊社では、クリスマスの時期に合わせてイルミネーションの設置・稼働を行っており、太陽光パネルの蓄電池と軽油稼働の発電機を併用しています。100%太陽光を目指しつつ、持続可能なイルミネーション（サステナブル・イルミネーション）を目指して稼働しております。近隣住民の方からも人気があり、「今年はいつから観れるのか？」といったお問い合わせもありました。

また、地域交流・コミュニケーションの取り組みとして、小学生の下校時間に合わせたお菓子のクリスマスプレゼントを配る行事も行っております。



【2024年12月イルミネーション全景】



【地域交流クリスマスプレゼント（お菓子）】



【太陽光パネル蓄電池を利用した電飾】

〒974-8261 福島県いわき市植田町根小屋65-1

【TEL】0246-63-6200

【MAIL】hayashi-ryutaro@hayashi-kogyou.co.jp（担当：林）



有限会社光自動車整備工場

主な活動場所：福島県郡山市

主な取組

リサイクル部品の推進によるCO2の削減



リサイクル部品及びリビルト、再生部品の使用をお客様に説明しご利用を勧めています。



【リビルト部品及びリサイクルパーツの使用】

〒963-8851 福島県郡山市開成五丁目12-5
【H P】 <https://hikarijidousya.co.jp>
【TEL】024-923-3465
【MAIL】 hikari22@if-n.ne.jp (担当：日下部)





主な活動場所：福島県石川町



主な取組①

NPO法人ハンガー・フリー・ワールドにおける、使用済み切手等の回収キャンペーンへの参加

NPO法人ハンガー・フリー・ワールドで取り組んでいる書き損じハガキ等の回収キャンペーンに参加しました。新聞広告の折り込みのチラシからキャンペーンの内容を知り、社内で回収BOXを設置しました。回収されたハガキ等は郵送された後に現金に換金されて、飢餓に苦しむ子供たちに対する食糧支援となります。

社内全体で取り組んだSDGsの取り組みの一環となりました。今後も情報収集を続けて、社内全体で取り組んでいきたいと思ひます。



【①使用済み切手・ハガキ・CDの回収BOX】



【②封筒に入れて郵送】

主な取組②

猪苗代湖清掃ボランティアへの参加



2025年10月5日(日)に、一昨年に引き続き24時間テレビ環境保護活動支援事業の一環として、猪苗代湖の清掃ボランティアに参加しました。

作業前には、環境教室として猪苗代湖の水質について学んだあと、参加者全員で猪苗代湖周辺の清掃活動を行いました。(枯れた木などのゴミ拾い)

今後も、清掃活動等のイベントなどに積極的に参加していきたいと思ひます。



【①開会式の様子】



【②ゴミ拾いの様子】





ふくしまSDGsネットワーク (FSN)

主な活動場所：福島県全域

主な取組① SDGs 出前講座



私たち、ふくしまSDGsネットワーク (FSN) (会員45名) は、SDGsを学び合い、教え合うことを目的に活動をしています。(事務局：NPO法人うつくしまNPOネットワーク)

- (1) 小中学校、地域団体、企業などに出かけて、SDGs 出前講座の開催
- (2) 環境 (地球温暖化、ゴミ、水など) の出前講座の開催



【SDGs 出前講座 (小学校)】



【環境 (ごみ) ワークショップ】

主な取組② SDGs アクション



私たち、ふくしまSDGsネットワーク (FSN) は、事務局のSDGsアクションとして、次の活動をしました。

- ①ハギモシ杯水泳大会 (郡山しんきん開成山プール) で、日本代表選手だった萩原智子さんのご協力を得て、フードドライブを実施しました。(2025年1月12日開催)
(協力：こおりやま広域圏地球温暖化防止活動推進センター)
- ②SDGs 専門相談会の実施 (12回/年)
(協力：郡山市民活動サポートセンター)
- ③グローバル・シチズンシップ (地球市民) に関するESD (Education for Sustainable Development: 持続可能な開発のための教育) 活動
- ④「未来のための協定」 (未来サミットで2024年9月22日採択) の学習会

スポーツには、力がある。

萩原智子杯in福島
NPO法人うつくしまNPOネットワーク
スポーツには社会的課題を解決する力があります。困った時は助け合い、一緒に解決しましょう！

フードドライブ
うつくしまNPOネットワークが子供たちに届けます

誰かを想うやさしさ
みんなで持ち寄ろう

会場まで受け付けます
2025年1月12日(日) 10:00～12:00までの受付となります。

会場：郡山しんきん開成山プール 入口特設ブース
TEL: 024-953-6092
info@utsukushima-npo.jp

【食品ロス削減】 (フードドライブ)

エスティーワーズ
SDGs
専門相談会

活動の悩みズバリ解決!!
月に一度 各分野のエキスパートが
個別相談に専念します。

2025年4月12日(金) 6月25日(金) 8月29日(金)
9月22日(金) 11月27日(金) 1月30日(金)

12月2日(金)

【SDGs 専門相談会】
12月2日(金) 14時15分～16時15分
12月2日(金) 16時15分～18時15分

【SDGs 専門相談会】
12月2日(金) 14時15分～16時15分
12月2日(金) 16時15分～18時15分

【SDGs 専門相談会】





ふくしまSDGsプロジェクト 推進コンソーシアム

主な活動場所：福島県全域

17 パートナシップで
目標を達成しよう



主な取組① ふくしまSDGsプロジェクト

2021年8月、ふくしまSDGsプロジェクト推進コンソーシアム（日本青年会議所 東北地区 福島ブロック協議会、福島県商工会議所連合会、福島県商工会連合会、福島県ユニセフ協会、福島大学、JAグループ福島、事務局・福島民報社）を立ち上げ、ふくしまSDGsプロジェクトを始動しました。

SDGsに対する認識を高め、さらなる行動の活性化を支援し、古里ふくしまで一つでも多くのゴールズを達成することを目標に活動してきました。SDGs出前授業の開催をはじめ、SDGsポスター、SDGs未来新聞の募集・発表など、小・中・高校を中心にSDGs教育に主眼を置いた活動を展開、ポスターや未来新聞などは多数の作品が寄せられ、公式サイトにすべて掲載中です。また、年度末には1年間のプロジェクトの活動・新聞記事などを小冊子にまとめ、県内すべての市町村、小・中・高校、大学に無料配布しています。

SDGs関連ニュースを公式サイトに掲載しているほか、小中学校などを対象にSDGsの出前授業も積極的に展開しています。



【SDGsポスターと未来新聞の贈賞記】



【SDGs関連ニュースの紹介】



【新聞紙上でのプロジェクト活動紹介】



【公式ホームページ】

主な取組②

SDGsへの産官学の取組を紹介する小冊子の発行及び無料配布

17 パートナシップで
目標を達成しよう



年度末に県内の企業・団体、学校などのSDGs活動をまとめた小冊子を発行し県内の全小中学校、高校、大学に無料配布しています。公式サイトに無料ダウンロードできるPDF版を掲載し、教育機関でも活用や閲覧を促しています。小冊子はA4版、30ページ、フルカラー。

県内SDGs活動一冊に

ふくしまSDGsプロジェクトがまとめたSDGs活動一冊に、今年度のSDGs活動の推進コンソーシアムは、県内各地のSDGs活動の推進に向けた取組の紹介する冊子「ふくしまSDGs活動一冊」を発行した。SDGsを推進する企業・団体、県内の活動や取組を紹介している。冊子は、県内各地の小中学校、高校、大学に無料で配布している。お問い合わせは、コンソーシアムの事務局（福島民報社）に連絡してください。

ふくしまSDGsプロジェクト 小中学校などに配布

お問い合わせは、コンソーシアムの事務局（福島民報社）に連絡してください。

お問い合わせ先
〒960-8068 福島県福島市太田町13-17（事務局：福島民報社内）
【H P】 <https://sdgs.fukushima.jp/>
【TEL】 024-531-4161
【MAIL】 kikaku@fukushima-minpo.co.jp

お問い合わせ先
〒960-8068 福島県福島市太田町13-17（事務局：福島民報社内）
【H P】 <https://sdgs.fukushima.jp/>
【TEL】 024-531-4161
【MAIL】 kikaku@fukushima-minpo.co.jp





一般社団法人 福島県環境測定・放射能計測協会

主な活動場所：福島県全域

主な取組

「食と放射能に関する座談会」の開催



福島県生活環境部消費生活課主催の講演会 & 座談会です。座談会開催地区やその周辺市町村にお住まいの方、お仕事で通われている方、他地区から移住してきた方、帰還を考えていらっしゃる方などが、気になっていたけどなかなか聞くことができなかった食と放射能についての質問にお答えするものです。ただし、先生の講演だけではなく、地元の食材を使用したお料理を召し上がったたり、いちご狩りや料理教室、サイエンスカフェなど会場ごとの催しにより、気軽に参加できて、楽しく食と放射能に関する知識を深めることができる座談会となりました。



【料理教室の様子】



【講演の様子】



【霧箱の見学】

〒960-8132 福島県福島市東浜町22-2

【HP】 <https://fukukankyo.jp/>

【TEL】 0246-36-8558

【MAIL】 htb-on@koutou-biken.co.jp (担当 今野)



主な活動場所：福島県内全域



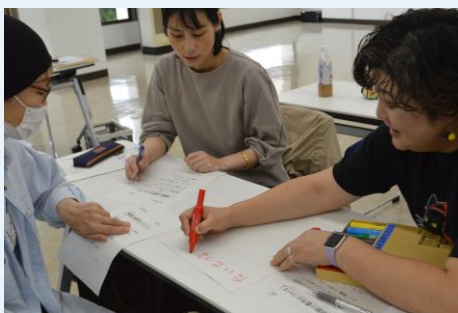
主な取組① 「やさしい日本語」の普及

日本に暮らす外国人の数は年々増加傾向にあります。話す言葉も多様化しており、すべての言語に対応することは難しくなっています。私たちは外国人とのコミュニケーションツールのひとつとして「やさしい日本語」の普及に取り組んでいます。

「貴重品」を外国人の方々にも分かるように伝えるとしたら？「会計」は？「徒歩5分」は？等の日本語を「やさしい日本語」に言い換える時のポイントや、話す際のポイントなどについて学ぶことができる講座です。



【講座の様子】



【グループワークの様子】



【発表の様子】

主な取組② 防災講座



日本に暮らす私たちにとって、地震や台風等の自然災害は日常と隣り合わせにあります。災害時に発信される情報は日本語で書かれ、難しい専門用語を含むことも多いです。

災害時に使う日本語の勉強や体験を通して、母国で経験したことがない災害が起きた時、どのように行動すればよいのかを知ってもらう講座を実施しています。



【段ボールベッドの組み立て体験】



【避難所カードの書き方を練習】





公益財団法人福島県産業振興センター エネルギー・エージェンシーふくしま

主な活動場所：福島県郡山市



主な取組①

福島県再生可能エネルギー関連産業推進研究会の運営

「再生可能エネルギー先駆けの地」を目指して、再生可能エネルギー関連産業のネットワーク構築をはじめ、人材育成、研究開発、事業化、販路拡大、海外展開を総合的・一体的に県内企業を支援しています。

福島県再生可能エネルギー関連産業推進研究会の運営を通じて県内外の企業間のネットワークを構築するとともに、各分科会（太陽光・風力・バイオマス・水素・エネルギーネットワーク・熱利用）ごとにセミナー・マッチング・現地視察を開催して情報共有や再エネ分野への新規事業の参入を促します。

■分科会の開催例■

【バイオマス分科会】



【水素分科会】（愛知県視察）



主な取組②

事業化プロジェクトの創出

再エネ研究会の会員企業を構成メンバーとする、新技術・新製品の開発や新たなビジネスモデル等のプロジェクトを推進する事業化ワーキンググループを設置し、集中的なコーディネート活動により事業化プロジェクトの創出を図ります。

現在、5つのワーキンググループの活動に対して、各企業の要請に応じた支援を行っています。

【地産地消型の小さな水素社会構築WG】
（令和6年12月25日設立）



活動概要

海外で大規模に水素を製造して国内に輸送・利用するという潮流の一方で、海外依存からの脱却や輸入拠点から遠い場所での水素利用のためには、小規模で分散型の「小さな水素社会モデル」により地産地消を進めることも重要であり、当WGでその構築を目指します。

【循環型熱利用WG】
（令和8年1月20日設立）



活動概要

県内の会員（4社）が連携し、地域共生・地域裨益型の太陽光発電事業に取り組んでいます。発電設備の新設以外に、新技術（垂直式太陽光発電注など）の開発や、既存の太陽光発電設備を持続的に活用していくためのサービスも展開しています。





福島県商工会女性部連合会

主な活動場所：福島県福島市

12 つくる責任
つかう責任



主な取組

レジ袋削減「エコバッグ作成」

ごみの削減や、それに伴う二酸化炭素などの温室効果ガスの削減、レジ袋の原料となる原油の節約（資源保護）などを目的に、掲示期間終了したポスターやカレンダーを利用したエコバッグ作成を推進しております。

福島県商工会女性部連合会役員や各商工会女性部長が講師となり、女性部員や地域の方へ作り方講習会を開催したり、YouTube で作り方の配信を行い広く周知しています。

作成したエコバッグは、レジ袋の代わりに各自の店舗でご希望のお客様へ商品を入れてお渡しし、大変好評を得ております。



【エコバッグ作成活動の周知】



【エコバッグ講習会風景】



【エコバッグ講習会風景】



【完成エコバッグ】



【完成エコバッグ】



【完成エコバッグ】





主な活動場所：福島県内全域



主な取組① 持続可能な森林経営への支援

市町村が進める森林整備・林業振興に関して、森林の現地調査等を踏まえ、その方向性や具体的方策を提言しています。また、皆伐再生林の推進に向けて、現地実証の結果を踏まえた林業関係者向けのセミナーを開催しています。



【整備された森林】



【森林整備により伐採された木材】

主な取組② 緑化の推進



①緑の少年団大会

①県内の緑の少年団が一堂に集まり、これまでの緑化活動の実績の発表や交流活動を通して相互に友情と連帯を深め、豊かな人間性と奉仕の精神を培うとともに、緑を愛し、守り、育てる心を養うことを目的に緑の少年団大会を開催しています。



【活動発表】



【自然観察】



【薪割り】



【テント設営】

②学校花壇やプランターに花苗植え

②緑の募金を活用して助成金を交付し、県内の学校における緑化活動を促進しています。





公益財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構 福島県男女共生センター

主な活動場所：福島県二本松市

主な取組①

ダイバーシティ理解促進事業



ダイバーシティ理解促進事業は、性的マイノリティをテーマにダイバーシティの考え方についての理解を深め、多様性を包括する社会の実現を目指すためのセミナーを開催しています。

令和7年度は、認定NPO法人 ReBit 代表理事の薬師 実芳さんをお招きし、企業を対象とし、「多様な性講演会『多様な性ってなんだろう？～すべての人にとって安心・安全な職場づくり～』」と題して、ご講演いただきました。



【「多様な性講演会」チラシ】

主な取組②

図書室の運営



当センターの図書室は、男女共同参画に関する図書や資料を約4万2千点備えています。

令和6年度は、18,388人の方が図書室をご利用いただき、図書貸出冊数は延べ3,677冊でした。

毎月、特集コーナーの展示や図書室職員によるおすすめ本を紹介しています。皆様の来室をお待ちしています。

📖 利用時間

9:00～20:00
(休館日前日9:00～17:00)

📖 貸出冊数・期間

図書…5冊(15日以内)
ビデオ・DVD…3本(8日以内)



【図書室内の様子】

【特集コーナー 展示用ポスター】



〒964-0904 福島県二本松市郭内一丁目196-1
【HP】 <https://www.f-miraikan.or.jp/>
【TEL】 0243-23-8303
【MAIL】 mirai@f-miraikan.or.jp (担当：熊坂)





主な活県内全域

主な取組①

レクリエーション指導者の養成



人と人とのつながり、コミュニケーションをベースに参加者の心の元気づくりを支えるレクリエーション指導者を養成している。参加者が、自己効力感、有能感、自尊感情を高めていく活動をととして、福祉におけるQOLの向上、地域づくり、人間関係づくりのほか、修了者が、それぞれの地域におけるSDGsの推進役になることを目指している。



【講習会の様子】



【学びの様子】

主な取組②

スポレク指導者の養成



スポーツを道具として、人と人とのつながりをつくり、参加者の心の元気づくりを支えるスポーツ・レクリエーション指導者を養成している。誰もが楽しく笑顔になり、人間関係をつくることのできるレクリエーションスポーツを学び、QOLの向上、地域づくり、人間関係づくりのほか、修了者が、それぞれの地域におけるSDGsの推進役になることを目指している。





主な活動場所：浜通り等15市町村を中心に、県内全域で活動

主な取組①

国内外に誇れる研究開発



世界でも例を見ない複合災害を経験した福島の優位性を発揮できる5つの分野において、被災地や世界の課題解決に資する世界最先端の研究開発に取り組んでいます。

【5つの分野】

- ① ロボット
- ② 農林水産業
- ③ エネルギー
- ④ 放射線科学・創薬医療、放射線の産業利用
- ⑤ 原子力災害に関するデータや知見の集積・発信



【ロボット・ドローンを活用した被災者の捜索・救助】



【土壌再生の機序を解明し、土壌創製技術を確立】



【ブルーカーボンのコア技術開発】



【放射線イメージング技術の研究開発】

主な取組②

産業化・人材育成の取組



F-REIの研究開発の成果を社会における実用化や新産業創出に繋げていくため、産学官連携・地域連携の取組を進めるとともに、福島の創造的復興と地域の未来を支える人材の育成にも取り組んでいます。

2025年10月には、福島ロボットテストフィールドを会場にロボットの社会実装と研究開発を促進する国際イベント「World Robot Summit 2025 過酷環境F-REIチャレンジ」を開催しました。



【F-REI座談会】



【サイエンスラボ】



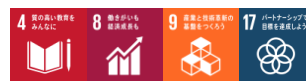
【WRS2025過酷環境F-REIチャレンジ】





主な取組①

段階的なGX人材育成プログラム



ESG経営を通じて持続可能な社会の実現を目指しています。
GX（グリーントランスフォーメーション）を重要な取組みと位置付け、
変革を生み出すのは「人」であるとの考えのもと、GX人材の育成を計画的に進めています。



■ Step1 : 「GX超入門講座」を提供（全社員）

- 社長・役員含む**全社員300名**で「GX超入門講座」の受講を実施（2025年2月）
→ 会社全体の環境スキルを向上！（会社全額負担）
- 新入社員の環境教育に「GX超入門講座」を採用



■ Step2 : 「GX入門講座 + GX検定ベーシック」を提供

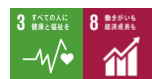
- 環境教育のステップアップに「GX入門講座」+「GX検定ベーシック」を提供（希望者）
- **GX検定ベーシック試験に13名合格！**（2026年2月時点）
※GX検定ベーシックの合格者は環境省認定制度『脱炭素アドバイザー』（ベーシック）に！



上位講座

主な取組②

歩行と睡眠の習慣化で健康増進



従業員の健康とウェルビーイング（Well-being）向上を目的に、歩行と睡眠の習慣化を支援する**健康増進プログラム**を通年で実施しています。

- **FCS-WALK**：月の平均 3,000歩 → 6,000歩 → 8,000歩 → 10,000歩にチャレンジ！
- **FCS-快適睡眠**：月の睡眠目標は1日6時間を20回以上にチャレンジ！

- 月毎の参加・達成状況をkintoneアプリで管理
- 達成者への特典で継続を後押し
- スマートフォンなどの画像データから歩数をkintoneプラグイン「モジトリ」で自動連携





福島市

主な活動場所：福島県福島市



主な取組① ダイバーワークスタイル企業認証事業

福島市では、女性活躍の推進や障がい者雇用、外国人雇用など多様な働き方ができる職場づくりに取り組む企業を「ダイバーワークスタイル企業」として認証しています。一定の基準を満たした企業に認定証を交付するとともに、企業は認証マークの使用が可能となります。また、市のホームページや広報誌などで取組を広く発信しますので、企業のイメージアップにもつながります。



必須基準	
(1)	安心して働ける職場づくり
(2)	働きやすい制度づくり
(3)	仕事と家庭の両立に向けた支援
選択基準	
(4)	男性の育児家事促進
(5)	女性が活躍できる職場づくり
(6)	障がい者の雇用促進
(7)	高齢者の活躍促進
(8)	外国人の雇用促進



【ダイバーワークスタイル企業認証マーク】

【認証基準】

【認証セレモニーの様子】

- ダイバーワークスタイル企業認証事業URL（福島市就職・企業情報発信サイト「えふWORK」HP）
<https://www.city.fukushima.fukushima.jp/f-work/consulting/diverwork/index.html>



主な取組② 農業分野におけるSDGsに係る各種支援

福島市では、農業担い手や今後農業をする皆さんに様々な支援を行っています。その中で、地球温暖化による気候変動や自然環境保全に貢献する取組への費用補助等の支援を行っており、その一例を紹介します。

～炭々まで枝活用推進事業～

果樹の剪定枝等を炭に変え、保肥力を高める土壌改良材として施用することで、化学肥料の低減やごみ排出量の削減等にもつながります。



【炭づくりの様子】

～施設園芸エネルギー転換支援事業～

燃油を使用しないハウス暖房設備等の導入を促進し、温室効果ガス排出抑制に寄与します。

例）ヒートポンプ、バイオマスボイラー、ウォーターカーテン等



【地中熱ヒートポンプ設備イメージ】

出所：(一財)ヒートポンプ・蓄熱センターHP

- 農業者のための支援事業を紹介します【ええ農～ハンドブック】URL（福島市HP）
<https://www.city.fukushima.fukushima.jp/soshiki/6/1025/1/1046.html>

〒968-0421 福島県福島市五老内町3番1号

【HP】 <https://www.city.fukushima.fukushima.jp/index.html>

【TEL】 024-525-3788

【MAIL】 seichou@mail.city.fukushima.fukushima.jp（担当：佐藤）





福島市子ども食堂NET

主な活動場所：福島県福島市

主な取組① 子ども食堂の運営支援



福島市の子ども食堂において、様々な課題解決や人材育成を実施し、ネットワークの強化を行うことで、横のつながりで子ども食堂を支え、様々な支援をつなげる仕組みを構築し、持続可能な子ども食堂を生み出していきます。



主な取組② フードドライブ



ご家庭で余っている食品を持ち寄って必要としている人に届けるフードドライブでは、集まった食品をネットワークに加盟している子ども食堂を中心とした加盟団体にお届けしています。企業や大学の協力もあり、多くの団体と連携しながらフードロス削減、子ども支援に寄与することができました。



〒960-8021 福島県福島市霞町9-18
【H P】 <https://fukushimaibasyo.beans-fukushima.or.jp/network/>
【TEL】 080-4184-9438
【MAIL】 d-etou@beans-fukushima.or.jp (担当：江藤)





株式会社福島タネセンター

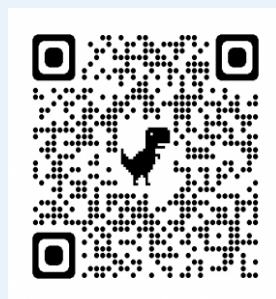
主な活動場所：福島県須賀川市

主な取組①

スマート農業技術の確立による 生産性の大幅向上と農業の魅力発信



- ・IT・DXを使いながら、通常ではできない高生産性を達成させます。
- ・マニュアル化が容易で、新規参入者や異業種参入でも農業で収益性を十分確立できます。
- ・できる限り不確定要素を排除することにより、安定した収益性を確保できます。
- ・地域経済において、農業を発展産業にできます。
- ・再生可能エネルギーだけで独立した生産基盤を作れます。
- ・ロボット・自動化の開発



主な取組②

上記技術を利用することにより、 農業事業をソーシャルビジネス化



- ・若いお母さんや、障害者、社会的弱者などの雇用機会を作ることができます。
- ・研修制度を利用しながら、地域の農業技術の発展につながられます。
- ・林業との取組（コラボ）事業を推進します。



〒962-0061 福島県須賀川市北山寺町128番地
 【H P】 <https://f-seed-lab.com/>
 【TEL】 0248-72-3145
 【MAIL】 k-hashimoto@f-seed.co.jp (担当：橋本)





主な活動場所：福島市



主な取組① SDG s ポスターセッション

1年生全員（約200名）がSDG s 17目標から関心のあるテーマを選択して班を編成し、身近な社会課題の現状分析及解決策を調査。校内販売のパン屋さんのフードロス対策（曜日・時間帯による販売データ管理）の報告など、生徒の視点で見つけた地域の取組をまとめ、全5クラス一斉にポスターセッション形式で発表・共有を行いました。SDG s 社会課題を「自分事」として捉える姿勢を養い、学んだ驚きや発見を共有し合うことができました。また、優秀作品の校内掲示を通じて他学年へもSDG s の視点を広めています。

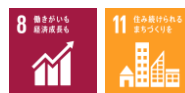


【各教室に分かれ白熱した発表を行いました。】



【調べた内容を模造紙にまとめて発表しました。】

主な取組② ローカルアンバサダー活動



SDG s 目標8・11を選択した生徒から希望者を募り、2026年開催の「ふくしまデスティネーションキャンペーン」に合わせて福島の魅力を発信する「しあわせの風ふくしま ローカルアンバサダー」の認定を受けて活動を行いました。生徒自らが地域の人や場所を取材して「知られざる価値」や生産者の想いを掘り起こし、広く学外へ発信しています。自分たちの足元にある地元を五感で学ぶことで、探究意欲が喚起されました。外部組織や企業との連携による「生きた体験」は、社会課題を自分事として捉える契機となっています。活動の成果は「福島西高公式note」に掲載。生徒の発信により交流人口の創出と持続可能な地域づくりに寄与することを願っています。



【「新幹線大爆発」に小道具を提供した時計屋さんを取材しました。】



【生徒が実際にお店を取材しました。】





主な活動場所：福島県郡山市

主な取組①

全社員の健康維持と能力開発向上



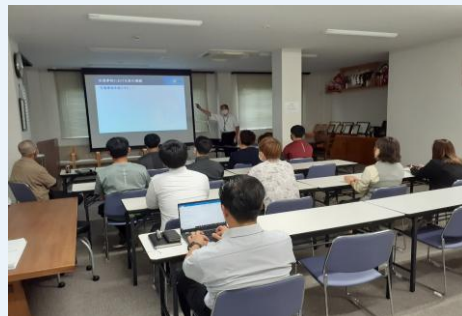
すべての社員の健康維持のため屋内禁煙を実施しています。また、自己啓発や能力開発に対する金銭的、時間的支援を行い、資格取得意欲、能力開発意欲を高め、達成感を実感することで働きがいを感じてもらい、生産性向上につなげています。



【電帳法・インボイス講習】



【防水施工技能士資格取得助成】



【安全運転講習】

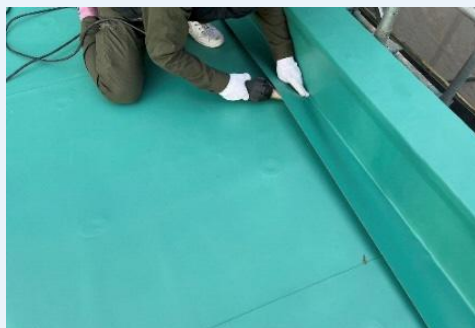
主な取組②

社業を通し持続可能な社会を実現



社業の防水工事で、高い技術力とCO2排出量削減効果のある断熱・遮熱の工法で耐久性のある建築物を実現し、住み続けられるまちづくりに寄与する取組を行っています。

作業現場では高い施工技術力と高度な施工管理力で材料のムダをなくし、材料を削減することで原料製造～輸送～施工～廃棄までのCO2排出量削減に寄与することができます。



【高い技術力でCO2排出量削減】

【廃棄物の分別・リサイクル】

〒963-0547 福島県郡山市喜久田町卸二丁目26番地1

【H P】 <https://www.fukubou.co.jp/>

【TEL】 024-963-1230

【MAIL】 andou@fukubou.co.jp (担当：安藤)





株式会社福島民報社

主な活動場所：福島県内全域



主な取組①

SDGs 関連情報の発信・啓もう

福島民報社は、国連の「SDGメディア・コンパクト」に加盟し、報道や各種事業を通じて持続可能な社会づくりに取り組んでいます。

メディアの特性を生かし、県内の学校、行政、企業、団体のSDGs活動を積極的に取材し、情報発信しています。

また、人と人をつなぎ、情報を伝える地方紙の原点に立ち、新聞を教育や健康増進に生かす出前講座なども進め、SDGsを指針とした新たな社会活動の展開を目指しています。



廃材でみこし作り

12月10日 住み続けられるまちづくりを
つるも責任つかう責任

「学校でSDGs」の取組の一環として、12月10日（土）に、福島県立いわき市立第一中学校で、廃材を使ったみこし作りを行いました。この活動は、SDGsの目標12「つるも責任つかう責任」を践むための取り組みです。生徒たちは、新聞紙や紙パックなどの廃材を再利用し、伝統的なみこしを制作しました。この活動を通じて、環境意識を高め、資源の有効活用を学ぶことができました。



SDGs宣言書

◇二本松市の自動車修繕業の安達総合車検センター（二本松信用金庫支援）⇨適切なメンテナンスと修理で車両の長寿命化を促し、資源を有効に活用。
◇二本松市の建設業の二重（二本松信用金庫支援）⇨安全性を第一に質の高い土木事業を通じて、地域の人々が安心して暮らせるインフラ整備に貢献。



古里の歌舞伎に挑戦

11月10日 住み続けられるまちづくりを

「学校でSDGs」の取組の一環として、11月10日（土）に、福島県立いわき市立第一中学校で、古里の歌舞伎に挑戦しました。この活動は、SDGsの目標11「持続可能な都市づくり」を践むための取り組みです。生徒たちは、伝統的な歌舞伎の衣装を着用し、簡単な演技を行いました。この活動を通じて、伝統文化を学び、地域愛を醸成しました。



SDGs宣言書

◇いわき市の発電施設メンテナンス業フィットテック（東邦銀行支援）⇨従業員が安全して働ける職場環境をつくる。
◇いわき市の電気工事業「高柳電気」（天東銀行支援）⇨11月の品質や安全性を追求し、安心安全な地域づくりに貢献する。
◇いわき市の自動車販売業「ワロレス」（天東銀行支援）⇨ハイブリッド車両の利用を促めるなど、環境負荷の低減に努める。
◇郡山市の解体工事業「天純工業」（天東銀行支援）⇨解体廃棄物を分別するなど、リユース・リサイクルを徹底する。

【学校や団体の取り組みを伝える記事】

【「SDGs宣言書」策定を伝える記事】

主な取組②

SDGs 関連イベントを開催



2022年9月24、25の両日、郡山市のビッグパレットふくしまで第1回目となる「ふくしまSDGs博」を初開催。2025年度は9月20、21日の2日間にわたり開催しました。行政、団体、学校、企業などの出展やステージイベントなどで楽しみながらSDGsを学ぶ機会を提供し、県民のSDGsへの取り組みの気運をさらに高めることができました。



【2025年「ふくしまSDGs未来博」を伝える記事】



【2025年「ふくしまSDGs未来博」ポスター】

〒960-8068 福島県福島市太田町13-17
【HP】 <https://www.minpo.jp/>
【TEL】 024-531-4161
【MAIL】 kikaku@fukushima-minpo.co.jp





福島民友新聞株式会社

主な活動場所：福島県内全域

主な取組

報道や事業を通して県民とともに
持続可能な社会の実現を目指す



新聞業の報道、営業、事業において、「誰ひとり取り残さない社会実現」というSDGsの理念を県民と共有し、解決に向けて行動に移していくことを目指しています。

企画ワッペン「子どもに未来を」「健康長寿」「プラスチック危機」で関連記事を目立つよう工夫し、紙面を通じて問題提起や啓発に取り組んでいます。本紙「ジュニア情報局」や出前講座「まなぶん」など授業で活用できるコンテンツもそろえ、将来の福島を担う人材育成を応援しています。

事業では「うつくしま・みずウオーク」や「サンシャインマラソン」などを展開し、環境共生と健康を考える機会を提供しています。



【うつくしま・みずウオーク】



【SDGメディアコンパクト加盟】

〒960-8648 福島県福島市柳町4-29
【HP】<https://www.minyu-net.com/>
【TEL】024-523-1195
【MAIL】somu@minyu-net.com (担当：加藤)





富士工業株式会社

主な活動場所：福島県内

主な取組①

寄付活動



当社では地域社会への貢献を目的に、さまざまな寄付活動を行っています。福島市にあるコミュニティブリッジひまわりへ食品や物品を寄贈し、継続的に支援しています。また、20年以上にわたり社会福祉法人白河学園ハンドセルを贈る活動を継続しており、今まで多くの子どもたちの新たな門出を支えています。さらに、年に一度、社員のご家族や地域の皆さまを招いて「感謝祭」を開催しています。この感謝祭は、2011年の東日本大震災後、地域を元気づけたいという想いから始まりました。以降、その売上金を全額、全国の復興支援活動に寄付しています。



【新入社員による物品の寄付】



【感謝祭実行委員】



【白河学園への寄付】

主な取組②

清掃活動



当社のビジョン「空気を変え、環境を変え、明日を豊かに変えていく。」を具現化する取り組みとして、地域の環境美化活動にも力を入れています。事業所のある中島村の清掃活動に加え、猪苗代湖の清掃活動にも積極的に取り組み、地域の自然環境保全に貢献しています。これらの活動には社員だけでなく、そのご家族も参加できるようにしており、保険の加入や交通費や昼食の補助を行っています。地元福島環境保全を考える貴重な機会として、ご好評をいただいています。



【中島村内清掃活動】



【2025年猪苗代清掃】



【清掃活動のようす】

〒961-0102 福島県西白河郡中島村大字滑津字大池向11-2

【H P】 <https://www.fujioh.com/>

【TEL】 0248-52-2905 (代表)

【MAIL】 h-satoh@fujioh.com (担当名：総務課 佐藤)





主な取組①

地域美化活動

いわき市で行っている「ボランティア清掃活動の支援制度」、『クリンピー応援隊』に参加し、会社周辺の清掃活動をしています。



【クリンピー応援隊集合写真】



【クリンピー応援隊活動の様子】

主な取組②

使用済み切手の回収活動



社内で回収した使用済み切手を、社会福祉法人いわき市社会福祉協議会様へ寄付致しました。

換金されたお金は、福祉施設の建設資金や障がい者のための社会啓発活動などの福祉推進に使われます。



【使用済み切手】





北都オーディオ株式会社

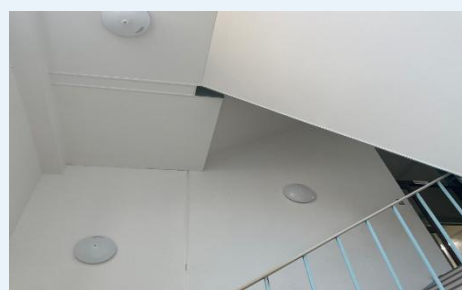
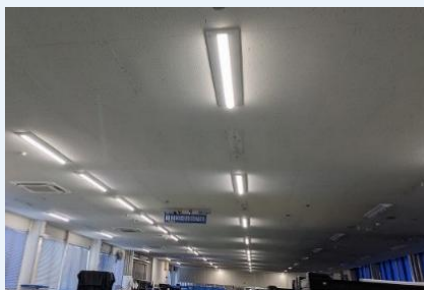
主な活動場所：福島県いわき市

主な取組①

資源の循環と節電



- 通路に人感センサーライトを導入し、自動で消灯するようにしています。
- 社内の照明すべてを蛍光灯からLED照明へ交換し、消費電力を抑えています。
- 消費電力量・ガソリン使用量に伴うCO2排出量の見える化を進めています。
- プラスチック製品を生産する際に排出されるランナーや不良品を材料ごとに分別し回収業者へ提供しています。また、段ボール・ストレッチフィルム等の梱包材を回収業者へ提供しています。



【ランナー・梱包材の回収】

【社内照明の完全LED化】

【センサーライトの導入】

主な取組②

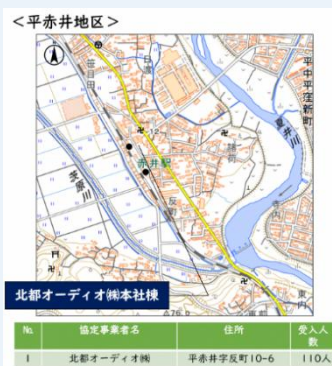
自然災害への備え・美化活動による地域への貢献 健康経営への取組



- 事業継続計画(BCP)に基づく対応。
- 会社周辺地域のハザードマップを掲示。
- 会社周辺の美化活動・赤井駅構内花壇への植栽活動を実施しています。
- 災害の際は会社の一部を避難場所として提供しています。(いわき市の一時避難所として指定されています。)
- ハラスメントに関するセミナーの受講とアンケート実施による実態把握。
- ストレスチェック診断の実施。



【ハザードマップの掲示】



【災害時一時避難所】



【赤井駅構内花壇の様子】

〒979-3131 福島県いわき市平赤井字反町10-6
 【H P】 <https://www.hokuto-audio.co.jp/>
 【TEL】 0246-21-3171
 【MAIL】 hokuto-shoji@joy.ocn.ne.jp (担当：庄子)





ほけんネットワーク株式会社

主な活動場所：福島県郡山市

主な取組①

地域社会の防災・減災対策に活用できる各種ツールの提供



当社は「SDGs 経営簡易診断サービス」を積極的に展開しているあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（以下AD社）の協力のもと、地域社会の課題を解決するため防災・減災対策の支援をさせていただいております。

「防災家族会議」AD社が提供するアプリを用いて災害時の避難場所や防災用品の確認などを家族で共有することができます。

「事業継続力強化計画」計画書を策定することで中小企業を取り巻くリスクに備えることができ様々な特典を受けることができます。当社ではAD社と協力し策定支援をいたします。



【AD社アプリ内「防災家族会議」より】



【中小企業に様々な特典がある計画書】

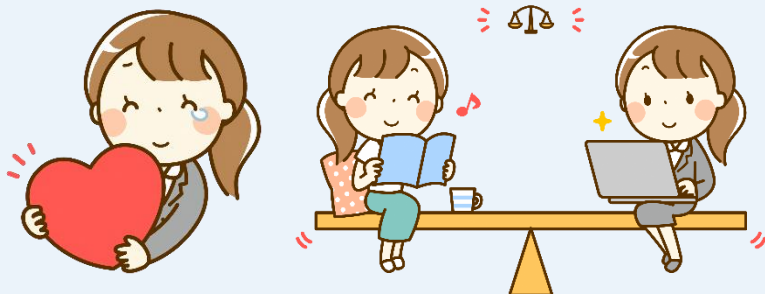
主な取組②

健康経営の取組支援



確定拠出年金や業務災害保険、がん保険などを促進、加入いただくことで福利厚生制度の充実を図ります。また、メンタルヘルス・ストレスチェックや病気の予防・早期発見ツールを提供し、健康経営をサポートいたします。

ワークライフバランス



【メンタルヘルス・ストレスチェックサポートのご提供】



【スマホで簡単健康チェック】

〒963-8862 福島県郡山市菜根二丁目11-19
【HP】 <https://www.hokennetwork.com/>
【TEL】 024-925-5200
【MAIL】 info@hokennnetwork.com (担当：渡邊)





三井住友海上火災保険株式会社 福島支店

主な活動場所：福島県内全域

主な取組①

SDGs取組支援（出張セミナー・宣言書作成支援）



- ・SDGsの取り組みを広めるため、弊社社員が講師となり無料でセミナーを開催させていただきます。
- ・事業を通じたSDGs取組を「見える化」すべく、金融機関様と連携し宣言書の作成も支援しております。



【SDGsセミナーの様子】



【SDGs宣言書イメージ】

主な取組②

防災・減災の取り組み



弊社で取り扱っている損害保険の中には、自然災害で保険金をお支払いする商品もあることから、これまでの保険金支払いを通じて蓄積された知見を元に、防災・減災に関わる施策の展示やセミナー等を行っています。



【防災・減災に関するセミナーの様子】



【県内イベントでの防災・減災に関わる施策展示の様子】

〒960-8031 福島県福島市栄町7-33 5F
 【H P】 <https://www.ms-ins.com/>
 【TEL】 024-523-0317
 【MAIL】 y-ogasawara@ms-ins.com (担当：小笠原)





三本珈琲株式会社 福島支店

主な活動場所：福島県内全域

主な取組①

食品ロス削減と啓発活動



コーヒー製造時に発生する食品ロスを活用した製品の売上の一部で、販売店から食品ロスとなりうる食品を買い取り、フードバンク等必要な先に寄付する活動を2021年から継続実施している。同時に啓発活動として各種セミナーやイベント出店を行い食品ロス削減の大切さやそのためにできる工夫をわかりやすく伝えている。



【寄付の様子】



【エシカルマルシェに出店】

主な取組②

学校給食で未来を創る！ 「SUNSHINE COFFEE PROJECT」



国連WFP協会が行うレッドカップキャンペーンを「SUNSHINE COFFEE PROJECT」として応援し、コーヒーを通じた途上国への学校給食支援とレッドカップキャンペーンの認知度向上に寄与している。



【プロジェクトロゴ】



【POP掲示のようす】

〒960-8151 福島県福島市太平寺字埸屋敷35番地
【HP】 <https://www.mmc-coffee.co.jp/sdgs/>
【TEL】 024-544-0077
【MAIL】 y-masaki@mmc-coffee.co.jp (担当：正木)





主な活動場所：本校

主な取組

南会津からできるSDGs



今年度より学校設定科目「SDGs探究」が開講した。SDGsを理解するとともに、南会津高校から何ができるかを考え、実践した。

1学期は海洋環境の変化等について学習し、南会津高校から取り組めることを生徒が自ら発見し、行動できるために、アクアマリンいなわしろカワセミ水族館館長 岩田 雅光氏を外部講師として招いた。2学期は国際的な視点からSDGsを考えるため、福島大学 教育推進機構 特任准教授 千葉 偉才也氏を外部講師として招き、SDGsをグローバルな視点で考えた。また、JICA二本松を訪問し、日本が開発途上国へどのような支援をしているのか理解する機会を設けた。

これらの学習内容を踏まえて、公開文化祭では来場者の下足袋に古新聞を活用したエコバックを150枚作成し、ビニール袋の削減に取り組んだ。



【福島大学 千葉先生による講義】



【公開文化祭 来場者へ古新聞活用した下足袋配信】



【JICA二本松 訪問学習】





明治安田生命保険相互会社 郡山支社

主な活動場所：福島県郡山市・福島市等16営業拠点所在自治体を
中心とした市町村

3 千代々の人に
健康と福祉を



主な取組①

健康寿命の延伸

健康増進型商品・サービスや運動機会の提供等を通じ、県民の健康増進をサポートしています。県内の祭事や道の駅において健康増進イベント「ベジチェック」等を実施し、1日350グラムの野菜摂取が推奨されていることを紹介しました。

Jリーグとの協働によりサッカー教室イベントを通して県民の健康増進に協力しました。



【祭事・道の駅での健康チェックイベントの様子】



【サッカー教室の様子】

主な取組②

地方創生の推進

11 住み続けられる
まちづくりを



県内各自治体との連携協定をベースに地域の橋渡し役として「社会的つながり」を提供し、より多くの県民と各地域の資源・コミュニティをつなげることで「地域創生の推進」に貢献しています。

県内当社所在自治体・協定締結済自治体を中心に当社全従業員による「私の地元応援募金」を実施、県内各地の公民館にて出前講座提供と健康チェックを行っています。



【私の地元応援募金 贈呈の様子】



【公民館出前講座とベジチェックの様子】





株式会社諸井緑樹園

主な活動場所：福島県南相馬市（他相双管内）

主な取組①

環境保全への取り組みについて



- ①これまで廃棄処分をしていた鉢植えを当社専用園芸ハウスで丁寧に植替え、施肥、消毒などをし商品価値を高めより良い商品として販売をしています。（プランツロスの低減対策）
- ②太幹部（樹種による）は近年流行している薪ストーブを利用されている方へ無償で提供しています。（時期は不定期、使用者引き取り限定です）



【専用園芸ハウス】



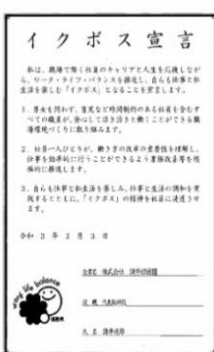
【薪の無償提供】

主な取組②

労働環境と人権尊重 及び地域貢献について



- ①イクボス宣言の基、従業員のワーク・ライフ・バランスを推進しています。また、「赤ちゃんの駅」として授乳スペースやオムツ替えスペースがあり、安心してご利用いただけます。
- ②学校のプール清掃を応援しています。学校の教諭、PTAだけでは重労働なプール清掃を、自社の所有している高圧洗浄機を使用し、人手不足を補います。



【イクボス宣言】



【赤ちゃんの駅】



【プール清掃】

〒975-0003 福島県南相馬市原町区栄町一丁目15番地
 【H P】 <https://www.hanamoroi.com>
 【TEL】 0244-22-8766
 【MAIL】 moroi-pc@xpost.plala.or.jp（担当：諸井）





主な活動場所：営業所周辺

主な取組①

みんなの街・職場をきれいに



福島主管管下の20営業所で、6月17日～6月23日まで、日々テーマを決めて、各営業所廻りのゴミ拾いや美化運動を実施

また、社員1人1人が本運動前までに日本の様々な社会問題と学習を行い、サステナビリティ週間の実施宣言を行い、活動を行いました。



【住みつけられるまちづくりを】



【ゴミをポイできない環境を】

主な取組②

みんなでダイバーシティ&インクルージョンを推進しよう



10月23日～10月29日の本運動を行うにあたり、ダイバーシティとインクルージョンの理解を深め、性別や年齢、国籍や境遇などの違いに応じた適切な支援や調整を行い、ここが平等である事を理解し、社内でも多様化の推進と個々の能力を発揮して活躍できる職場を作ることを行いました。



【勉強会の様子】



【リーダー研修時での勉強会】



主な取組

水素燃料電池トラックの活用

・2023年8月から水素で発電する燃料電池（FC）小型トラックを導入し、工事現場への資材・機材の運搬等で使用開始。

（災害時等にはトラックの外部給電機能を非常電源として活用）

排気ガスによるCO₂を排出しないトラックを工事に利用することでCO₂を削減し、2050年カーボンニュートラル社会の実現へチャレンジしています。

※福島県とトヨタ自動車(株)で行っている水素活用の社会実装（「水素のある暮らし」の実装モデル）に向けた実証実験への参画です。



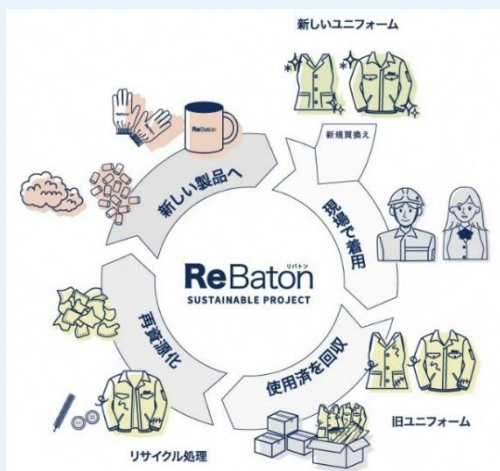


主な取組①

使用済みユニフォーム再資源化プロジェクト推進

企業用ユニフォームの新規買い替えの際に出る不要となった旧ユニフォームを回収し、適切なリサイクル処理ののちに再資源化、新たな製品の原料として活用する「ReBaton（リバトン）SUSTAINABLE PROJECT」を企画し、推進しています。

企業用ユニフォームを販売している会社として、ユニフォームを使用した「その後」までサポート致します。



【プロジェクトの流れ】



【新たな製品のイメージ】

主な取組②

リサイクル（アップサイクル）に関する外部サービスへの協力

本社にて使用済コンタクトレンズケースの回収を行い、コンタクトレンズ販売企業が推進するリサイクル（アップサイクル）サービスに提供。リサイクル製品として再生されます。

※協力サービス→HOYA株式会社のアイシティecoプロジェクト



【回収イメージ】





主な活動場所：福島県内全域

12 つくる責任
つかう責任



主な取組① 店頭における資源物回収

店舗店頭にて、食品トレー・牛乳パックを全店で、ペットボトル・古紙・段ボールを(一部店舗を除く)ほぼ全店で回収しております。回収したトレーは再生トレーへ、回収したペットボトルは再生ペットボトルやオリジナルブランド「セブンプレミアム」のパッケージにリサイクルされて、再び店頭で商品として販売されます。



主な取組② フードドライブの取り組み

店舗店頭にて、フードドライブ用の箱を設置しています。ご不要な食品を回収して、食品を必要としている地域のフードバンク、生活困窮者支援団体、子ども食堂等に寄付する活動です。全店で実施しています。

1 貧困をなくそう





リコージャパン株式会社 福島支社

主な活動場所:福島県内全域



主な取組①

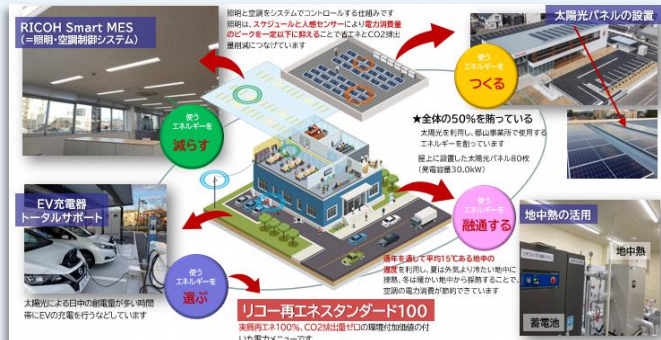
SDGsと事業の同軸化と 脱炭素ソリューション

リコージャパン福島支社では、我々が「社会課題起点で」業務に取り組み、成果を上げることで、業績達成や社内のプロセス改善だけでなく、社会課題解決を加速させると考え『事業とSDGsの同軸化』に取り組んでおります。

また、国内事業所として初めて地中熱を活用し『NearlyZEB』（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ゼブ））認証を取得。カーボンニュートラルへの貢献にチャレンジしております。ぜひ、ご見学にお越しください。



【NearlyZEB事業所（郡山）】



【脱炭素 省・創・畜】

主な取組②

社会貢献活動



お客様と共に持続可能な社会を目指して生態系保全活動（水源や森林を守る）やフードバンク活動にも毎年、積極的に参加しております。

複合機ダンボールを幼稚園へ寄贈し再利用の取組や小学生の社会科見学も積極的に受け入れております。

今後も社員がSDGsを「ジブンゴト」と捉え一人一人が自分の言葉でSDGsを語り、社内から社外へ、そして地域の皆様と一緒にSDGsの輪を拡げていく活動をしてまいります。



【水源を守る生態系保全活動】



【複合機ダンボールの再利用】



【フードバンク活動】



【社会科見学：地球温暖化防止についてディスカッション】

〒963-8861 福島県郡山市鶴見坦2-18-5
【HP】 <http://www.ricoh-japan.co.jp>
【TEL】 024-927-5590
【MAIL】 yuka_Anzai@jp.ricoh.com (担当: 安斎)





株式会社リビングソーラー

主な活動場所：福島県内全域

主な取組①

省エネ、省CO2対策の啓蒙啓発活動

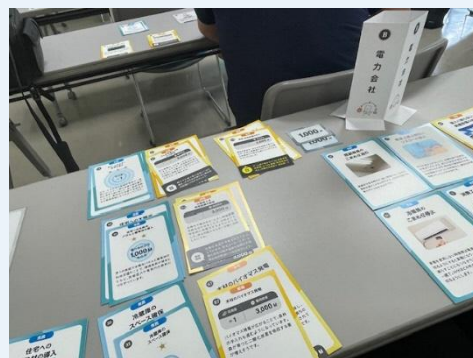


脱炭素と経済活動の関係性や地球温暖化防止の行動変容に働きかけるために、SDGsファシリテーターの専門講師をお迎えし、カードゲーム型の教育プログラムを活用し、分かりやすく学ぶ機会を創出しました。今年度は11月と12月に、いわき市にて開催しました。

SDGsの視点で福島県の課題を捉えることで県民の皆様が福島県の現状や課題の把握、解決に向けた取組の活性化を目指しました。



【カードゲームを行っている様子】



【ゲームに使用したカード】

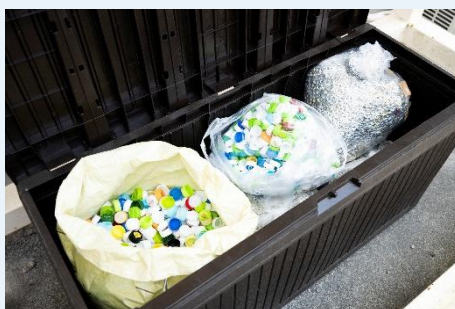
主な取組②

プルタブ・エコキャップの回収をしています。



弊社では資源の有効活用と社会貢献を目的として、エコキャップ及びプルタブの回収活動の継続をしています。

回収したエコキャップはNPO法人エコキャップ推進協会に送付し、ワクチン支援や医療活動に役立てられます。また、プルタブは環公害防止連絡協議会へ送付し、車いす寄贈などの福祉に役立てられます。



【回収したエコキャップとプルタブ】



【送付用の専用袋に入れたエコキャップ】





有限会社ワシオ商会

主な活動場所： 全国（主に福島県）

主な取組①

健康経営の取り組みと Well-beingの発信



健康経営やワークライフバランス・働き方改革などを、自社で取り組むのはもちろんのこと、全国に向けて発信する活動をしています。

「社会・経済および雇用の課題に対して、健康増進と企業経営の統合発展を通じて、日本社会と世界に貢献する」を基本理念に掲げた、東京大学古井特任教授を座長とする健康投資推進協議会に所属し、全国の中小企業に向けてWell-beingの発信をしています。



【東京大学におけるオンラインシンポジウムの様子】

主な取組②

紙をごみにしない取り組み



紙ごみは極力ごみにせず、リサイクルに出しています。

コピー用紙の裏紙利用や、封筒・包み紙など、リサイクル可能なあらゆる雑紙も、また、シュレッダーした紙もリサイクル施設へ持ち込み、ごみにしない工夫を全社員で取り組んでいます。

使う責任を全うしています。



【リサイクル可能なあらゆる雑紙は紙袋にまとめます】



【シュレッダー処理した紙もリサイクル施設へ持ち込みます】

〒965-0053 福島県会津若松市町北町大字上荒久田字宮下45

【H P】 <https://www.washio-aizu.com/>

【TEL】 0242-24-6250

【MAIL】 information@washio-aizu.com（担当名 専務取締役 鷲尾）





渡辺エンジニアリング株式会社

主な活動場所：福島県福島市

主な取組①

太陽光発電による社用EV車の充電



我が社は、地球環境に優しい自然エネルギーに着眼し、地球温暖化に対応するための脱炭素社会を目指すこととして、事務所屋上の太陽光発電（9,000W）による充電設備を事務所内に設置して、社用EV車を走行させる電力を自給自足することにより、SDGsを推進しています。



【屋上設置の太陽光パネル】



【事務所内にある充電設備】



【社用EV車への充電】

主な取組②

ソーラーゴーカート試乗体験ほか



我が社は、福島市荒井地内に太陽光発電・水力発電を身近にふれあうことができる「だいこん村」を運営しています。また、「だいこん村」には自然環境に配慮して、木工品の製作が可能な設備を取りそろえています。その「だいこん村」のGW企画として、令和7年5月5日に「第4回だいこん村5・5祭り」を開催しました。ソーラーゴーカート（木製手作り充電式電気自動車）の試乗体験のほか、「つくることの喜び」を感じてほしいと考え、無垢材で作る「六角形のペン立て」、「からくりBOOKスタンド」づくり木工体験教室や、リユースの観点からのフリーマーケットも合わせて開催し、大変多くの方々にご参加いただきました。



【ソーラーゴーカート試乗体験、フリーマーケット】



【木工体験教室】

〒960-8055 福島県福島市野田町7丁目4-69
【H P】 www.watanabe-office.jp
【TEL】 024-535-2221
【MAIL】 info@watanabe-office.jp（担当：渡辺）



福島県総合計画について

▷ 福島県総合計画について

あらゆる政策を網羅した県の行政運営上の最上位計画であり、県の目指す方向性や施策を示す県づくりの基本的な指針です。目指す将来の姿をSDGsの視点でも描いています。

▷ 総合計画とSDGs

本県は、震災・原発事故という未曾有の複合災害からの復興の取組と、急激な人口減少などの全国共通の課題への取組を同時に進める必要があります。

本県が目指す将来の姿の実現に向けて、これらの課題を解決していく取組は、持続可能な社会の実現を目指すSDGsの取組と方向性が一致しています。

計画では、世界の共通言語であるSDGsの視点を 取り入れ、福島県に心を寄せる人々との連携・協働を深めながら、福島県の復興・創生を着実に前に進め、「持続可能で豊かなふくしま」の実現を目指しています。



▷ 詳しくは県ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/comprehensiveplan2022-2030.html>

プラットフォーム専用ホームページ・公式SNS

▶ プラットフォーム専用ホームページ

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/sdgs-pf/>

▶ 公式SNS



<Facebook>

※アカウント名「ふくしまSDGs推進プラットフォーム」で検索ください。



<Instagram>

※アカウントID「@fukushima_sdgs_pf」で検索ください。



<LINE>

※公式アカウント検索欄にて、アカウント名「ふくしまSDGs推進プラットフォーム」で検索ください。

皆様からのフォロー・お友達登録
お待ちしております！



ふくしま応援！『ペコ太郎』

その他

▶ ふくしま復興情報ポータルサイト

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal>



▶ 東日本大震災・原子力災害 10年の記録

<https://fukushima-10years-archives.jp/>



▶ 復興・再生のあゆみ（復興関連冊子）

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/ps-fukkoukeikaku1151.html>



▶ 「ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま」

<https://jitsugensuru-fukushima.jp/>



ふくしまSDGs推進プラットフォーム事務局：
福島県 企画調整部 復興・総合計画課

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号
Tel : 024-521-7109 Mail : f-sdgs-pf@pref.fukushima.lg.jp